（大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可）

新京日日新聞

夕刊　五月八日（火）

發行所 新京日日新聞社　發行人 十河榮忠　編輯人 松本勝男　印刷人 谷啓二郎

第三回 全滿領事會議

滿洲國獨立を尊重 治法撤廢を目標に

菱刈大使以下各機關一堂に けふ會議第一日

既報、第三回全滿領事會議第一日は八日午前九時卅分より駐滿大使館會議室において開會された、谷參事官開會の挨拶として

滿洲國獨立は嚴然たる事實で、この點過去に充分論じ盡されたところである、然るにかゝはらず近時日本朝野の一部においては往々にしてこの滿洲國獨立を承認しながらあだかも殖民地的の意見が述べられることは甚だ遺憾とするところである、日滿關係は三月二十七日の詔勅並日滿議定書によつて確定し嚴として動かぬものである、今後の諸般の方策もこの詔書と議定書の御趣旨にそひ進まねばならぬ諸般の會議に際してこの點充分に含んでおかれることを希望する

との意味を述べ、別項の如く外務大臣訓辭（柳出第三課長代讀）菱刈大使の訓辭あり、田代警務部長 警察機關は軍部並滿洲國側と充分協調協力して進まねばならぬ而して日滿議定書に定められた如く滿洲國治安維持が重大なる任務である軍の分散配置の撤去に伴ひ警察機關の任務益々重大を加へた、よつて今後治安維持改善のために最善をつくされむことを希望す更に應警官の勤務狀況、勤員增加配置の問題並にこれが對策、警察官の訓育衞生問題、邦人の保護取締り等諸般の問題に對して述べ今後滿洲國側の行政、軍政機關と充分に密接なる協調をとることに留意せられたしとの挨拶ありて引續き各領事の地方狀況報告、軍及憲兵司令部側からの希望開陳があつて午後五時緊張裡に第一日の日程を終つた、なほ本會議に岡村少將、藤森海軍大佐、關東軍原田、秋山兩課長滿洲國側より民政部竹內總務司長、財政部星野總務司長、外交部神吉政務司長、長尾警務司長參列した、なほ八日午後六時半より領事招宴菱刈大使主催の晩餐會が大使官々邸において開催される筈である

全權大使の訓示

茲に第三回全滿領事會議開會に當りまして一言申述ぶる機會を得たるは本使の最も欣快とする所であります

本年三月一日滿洲國に於ては帝制實施せられて以來治安は愈々回復し國礎愈々鞏きを加ふるに至りたるは議定書に依り不可分の關係に在る日本國に取りても洵に慶賀の至りに堪えざる次第であります

一方世界の情勢を見まするに昨年三月二十七日帝國の聯盟脫退に際し煥發あらせられたる詔書の中に示し給ふ如く列國は稀有の世變に際會し帝國も亦非常の時艱に遭遇して居ります從て我々在滿官憲としては日滿議定書に規定せられたる兩國の特殊緊密關係に深く留意すると共に詔書に示されたる對滿方針に從ひ滿洲國の獨立を尊重し其の健全なる發達を促し以て東亞の禍根を除き上述帝國の非常時艱突破に寄與することが最も肝要と信じます

今回の會議に於きましては大使館內の警務部並經理課新設に伴ふ事務打合せと共に滿洲國の健全なる發達に重大なる關係を有する治外法權の問題其他重要なる事項を討議することゝなりましたが幸ひ滿洲國及び關東軍其他よりも關係官の御出席を得ましたる次第で御座いますから各官に於て此等の問題に付腹臟無く所見を披瀝せられんことを望んで止まない次第であります

廣田外相の訓示

今般滿洲國々都新京に於て第三回全滿領事會議開催せらるるに當り、本大臣は盟邦滿洲國が着々健全なる發達を遂げ殊に過般の帝政實施に依り新興獨立國としての國礎愈よ鞏きを加ふに至りたるに對し、衷心より慶賀の意を表すると共に、在滿帝國外務官憲に於て軍部其他在滿帝國諸機關並滿洲國側と協力し帝國の對滿國策遂行上異常の努力を爲し來れる功績を思ひ、深く之を多とするものなり

帝國の對滿國策が滿洲國の獨立を尊重し其の健全なる發達を促し、以て東亞の禍根を除き世界平和の基礎たらしめむとするに存するは、畏くも客年三月二十七日煥發せられたる詔書に依り明に宣示せられたる所にして又日滿兩國の特別且緊密なる不可分關係は日滿議定書の明定する所たり、帝國としては官民一致協力益々帝國の對滿國策乃至日滿兩國の根本關係の認識を常時把握し、以て滿洲國の健全なる發展の爲極力寄與すると共に日滿兩國不可分の關係を永遠に鞏固ならしむるに努むべきなり

晚近世界大勢を通觀するに、今や列國は政治、經濟、思想上正に一大變革期に直面しつゝあるものと云ふべく、國際政局の前途必しも安穩を期し難きは勿論、帝國の對外關係亦多事なる事否み難しと雖も帝國官民にして客年三月煥發せられたる詔書の御趣旨を奉體し、一致協力如何なる難局に逢着するも敢て動ぜざるの覺悟と準備とを以て、冷靜且着實に事に當らば、帝國の前途實に洋々たるものあるべきは本大臣の確信する所にして斯て帝國は盟邦滿洲國と共に相携へて東洋平和延ては世界平和の基礎たるの實を擧げ、大義を宇內に顯揚するを得べし現下時局重大なる此の際在滿帝國外務官憲の任務は愈々重きを加へむとす、貴官等は此の上とも帝國の對滿國策と世界平和に對する使命とを體得發揚し、渾身の努力を傾倒して任務の遂行を期せられむことを切望す

英米伊大使館附 武官を更迭 沼田中佐伊駐在武官に榮轉

【東京國通】五月七日附を以て英米伊在勤大使館附武官更迭が左の如く行はれた（陸軍省辭令）

英國在勤帝國大使館附武官 陸軍少將 安藤利吉
米國在勤帝國大使館附武官 步兵大佐 田中靜一
伊國在勤帝國大使館附武官 步兵中佐 中村正雄
（各通）參謀本部附被仰付
補米國在勤帝國大使館附武官 參謀本部附 步兵大佐 松本健兒
補英國在勤帝國大使館附武官 參謀本部々員 步兵中佐 丸山政男
補伊國在勤帝國大使館附武官 同 沼田多稼藏

不滿高潮に達し 現政權顚覆か 赤衞軍間に昂まる反ソ熱

（ハルビン國通）ソ聯政府の赤衞軍强制極東移駐に依り赤衞軍並に邊境執行委員間にはソ聯現政權に對する不滿高潮に達し、戰爭に依つて現政權の顚覆を企圖せんとして公然と之を放言し現政權の顚覆を待望してゐる、又舊帝制時代の軍人の多數居住するシベリヤのトムスクに於ける地方民は『ソ聯は遠からず內部的に分解作用を起し終末を告げん』と異口同音に語り合ひ現政權の顚覆を期待してゐる

エチオピア 日本商品壓迫は關知せず イタリー大使釋明

【東京國通】駐日イタリー大使マウリッチ氏は七日廣田外相と會見、最近傳へられるエチオピアに於てイタリーが日本商品を壓迫してゐるとの說はイタリーの何等關知しないものだと釋明した

後任經調委員長 山崎理事か 十河理事滿期で

【大連國通】炭鑛會社の創立と共に社長として就任した滿鐵理事十河信二氏は六月の理事任期滿期迄居据るか、否かは問題になつてゐるが滿期迄僅か五十日を餘すのみであるので兼任の儘とする向か多いが最近滿期を待たずに辭任するとの說もある

尙十河氏の擔當してゐる經濟調査會委員長椅子には同氏辭任と共に山崎理事が据る事となつたと確聞する

伊太利軍艦建造 四億八千萬リラで

【ローマ六日發國通】六日伊太利海軍當局發表に依れば伊太利政府は今回豫算を改訂し總額四億八千リラを以て軍艦の建造を行ふことになつた

濠洲レ外相 七日日本へ

【上海七日發國通】日本訪問の途にある親善使節濠洲外相レーサム氏は七日午前九時出帆の長崎丸で日本に向つた

黄郛政權危機到來 北支の動向注目！ 葛氏の報告も期待出來ぬ

【北平七日發國通】黄ヲ政權の誠意の實證となるべき通車通郵問題の成否、延いて黄ヲ氏が再び

＝北上＝するや否やが日滿側の對支政策の鍵をなすものとなし注目されてゐる際葛敬猷氏の政務整理委員會に對する報告は重苦しい空氣の中にある北支に一縷の光明を齎らした感があるが葛敬猷氏の報告もある程度まで北支の動搖防止の爲の御座なりの報告と觀られる節あり持に通郵の如き滿洲國トランジットの問題もあり輕々に解決出來るものとは思へない結局中央では黄ヲ氏をしてせいぜい通車問題位でお茶を濁す位であらう、其の通車も孫科一派の出樣ではどうなるや解らぬと觀られる樣子もあり例へ黄ヲ氏が通車問題位の下話を成立せしめるため北上するとしても日滿側では通車のみならず通郵稅關と矢繼早やに公約實行を求むべく黄氏政權の前途に對しては葛氏の報告位では到底樂觀は許さぬとの見方が有力である、何れにしても玆一ケ月は正に黄氏政權の

＝危機＝と云ふべく而して黄氏が若し再び北上せぬ場合は果して北支全政局は如何なる變動を示すか事態の推移は各方面より異常な關心を以て觀られてゐる

葛氏の歸平報告內容

【北平七日發國通】確聞する處に黄ヲ氏と同行南下し唯一の確報を持して五日歸平した葛敬猷は通車通郵問題につき華北政府整理委員會に對し左の如く報告した

一、通車通郵については蔣介石、汪精衞と協議の結果斷行に決定、近日中に正式に中央政治會議に提出
二、取敢ず通車問題を解決すべく運動して本月中旬決定案を携行南下せしむ
三、通郵具體案については目下中央當局に於て考究中にして具体案成立次第實際的折衝に入る豫定なり
四、要するに北支諸懸案は圓滿解決の見込あり此際黄ヲ氏の立場を充分諒解の上輕擧妄動なき樣各方面を取締られたし

駐日ユ大使 北鐵交涉繼續を表明 外相は日ソ漁業協定を要求

（東京國通）駐日ソヴイエート大使ユレニエフ氏は七日廣田外相と會見し本國政府より滿洲國側の提案を承諾し北鐵交涉を繼續し度き旨及びペシコフ號返還問題解決を申込んだが外相はペシコフ號要求を拒絕し日ソ漁業協定尊重を要求した

共產討伐 大進展 國民政府消息

【南京七日發國通】國民政府側消息に依れば中央軍の共產軍討伐は各方面とも最近著しく進展しつゝあり、即ち江西省に於ける討伐區は南城、廣昌、寧都、杭州方面に迄進出せる爲瑞金を中心に福建、廣東省よりの山岳地帶にばん居してゐた朱德、毛澤東等の共產軍主力は江西省內に止まり得ず大擧移動して福建省延平廣東省饒平附近に現はれ同地方面の討伐軍を脅かしてゐる又湖北省境の孔荷龍四川省の徐向前等の共產軍は夫々中央討伐軍におされて後退を續けてゐる模樣である

閻の使者新疆へ 中央の壓迫で

【北平七日發國通】黄ヲ政權の危機並に將來に於ける財政逼迫を見越した山西綏靖主任閻錫山は最近密かに綏靖總署秘書長王中を新疆省の盛世才の許に派遣し將來反中央の旗を擧げたる場合は援助を乞ふ旨申入れるところあつた目下の處閻錫山がトップを切つて反中央の旗を擧げる等と云ふ事は考へられぬが少くとも最近中央の壓迫を感じて居り若し近く何者か、實力を以て反蔣の旗を擧ぐる場合は從來の灰色主義より一步を進め成行次第では眞先に馳せ參ずべきは略確實と見られてゐる

蔣の特使は 北支交涉延期方要請 黄郛も北上を見合す

【上海七日發國通】杭州に靜養中の黄氏は本月末北平に歸還の豫定であるが某確實方面への消息によれば現に東京にある蔣介石の特使は日本の某有力者を通じ日本側に對し北支通車通郵設關交涉を九月迄延期方を要請し又杭州にある黄氏は最近北上延期を側近者に明言せる事實あり、右諸情報を綜合するに支那側は北支交涉に對する誠意全然なく殊更に交涉を延期せんとする意圖なるものゝ如く斯くては北支懸案の圓滿なる解決を期する我國の好意は無視せられる譯にて未解決による北支の窮乏、民衆の困苦の責任は全然支那側に歸すべきものである

支那が外債整理委員會設置 近く各國と交涉開始か

【南京七日發國通】財政部長孔祥熙は日英米の舊債整理要求に對し對策考究の爲南昌に於て蔣介石と商議中であつたが、支那側の消息によれば此の程財政部に外債整理委員會を設置し外交部と連絡して舊外債の詳細なる研究を遂げたる後各國の要求に應じて交涉を開始するの方針を確立し委員會の設立に着手したと

その日〳〵

□ 三位一體の具現者菱刈大使を中心に第三回全滿領事會議開く

□ 外相、滿洲國の獨立を再び尊重、菱刈大使治法撤廢を說く

□ 事變前の四頭政治、日支關係の相容れざるに比べうたた感慨無量

□ 明後日の滿洲國初の觀兵式ぜひお天氣にしたいもの

□ 不便だつた新京驛の驛辨愈よ近く賣出す文句の起らぬやう今から御注意のこと

人事往來

▲入田滿鐵副總裁 大典觀兵式參觀のため十日午前七時來京、ヤマトホテル、同日午後四時三十分離京
▲大內滿鐵理事 挨拶のため同上、十二日午後四時三十分南行の豫定
▲神崎登氏（新京地方事務所長）來京中のところ八日午後四時三十分發一旦歸奉
▲潤麒夫人（滿洲皇帝陛下妹君）七日午後一時五十五分着大連から
▲菱刈大將（關東軍司令官）七日午後七時三十分着大連から
▲鶴見書記官（大使館）同上
▲塚原秘書官（大使館）同上
▲鄭貴氏（鄭總理令孫）同上夫人同伴

團体

▲應振復（陸軍武官中將）以下二十六名日本見學滿洲國武官七日午後七時三十分着內地から
▲奈良女子師範學生四十五名八日午後六時五十五分來京西村旅館投宿九日午後發南行
▲東京日本橋區學校長團六名八日午後四時來京
▲京城第一公立普通學校團百五十八名八日午前六時來京同日午前十一時三十分發奉天へ
▲慶尙北道會議員二十五名十日午前八時三十分發哈十日午前七時歸京同日午後五時發吉林へ
▲京都府立第一工業學生五十名九日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ十日午後三時二十五分歸京大陽ホテル投宿十一時午前六時三十分發吉林へ同日午後七時三十分來京同日午後十時發南下
▲大分縣立工業學校六十五名九日午前六時來京同日午後四時三十分發南下
▲在米日本農業視察團十一名九日午後一時五十五分來京梅屋投宿十日午前八時三十分發哈市へ十一日午後三時二十五分來京同日午後四時三十分發南下
▲大分新主催團二十五名九日午後四時來京十一日午前八時三十分發哈市へ十二日午後三時二十五分歸京同日午後十時發南行
▲西廣場小學生二百七名八日午前十一時三十分發大連へ十二日午後六時五十五分歸京

天氣週報

天氣	西の風曇後晴
氣溫	最高 十五度〇 最低 六度七
日出	前四時二十一分
日入	後六時五十分
月出	前二時〇分
月入	后二時十八分
滿潮	前　分 後　分
干潮	前　分 後　分

日滿戀愛 生命線を行く

（上映）國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

（百六十四）

縁談の小座敷（二）

姉は、團扇の風を、しづかに、伸一の方へ、送りながら、

「あなたと、勝代さんは、滿洲以來の、お知り合なんですつてね」

「然う。彼地で、子供が思はぬ世話になつて、それから、ずつと親しくなつたんだ」

「只、それだけですの――？」

「それだけか――とは？」

「初めは、病氣で、大騷ぎをしたんですわ」

「なぜ？」

「あなたはキツト、勝代さんの好い人だらうつて、今夜もまた、坊ちやんが、勝代さんに牛馬しだなんて、言つてゐる人もあるくらゐですわ」

「はゝゝ、冗談じやない。そんな……

……キツト大喜びですわ。あの人、あなたには、よつぽど願惚れてですもの」

「はゝゝ、冗談じやない――そんな馬鹿な――」と、伸一は、笑ひに紛らした。しかし、心の何處かに、それを冗談として聞き流して置けない氣持が、潜んでゐた。姉は、ツヒ調子に乘つて、思いことを、言つてしまつたといふやうな氣がした。

「あ、さう〳〵、この間、ちよつと勝代さんから聞きましたが、奧さまは、彼地で、飛んだ目にお遭ひなすつたんですつてね。そして、まだ、おわかりに、ならないんですか？」

「まだ、わからないね」

「坊ちやんが、お氣の毒ですわね」

……

すつて。けれどお客さんの方は、大の熱心で、ちやうど、お連れの方に、勝代さんのお母さんや、兄さんと、心易い人があつて、その人が骨を折つて、その方へ手を繼して、無理にも、勝代さんを往生させやうと、して居なさるんですつて――」

「で、その客といふのは、一體、どこの人かね」

伸一は、次第に濁立つて來る聲を、どうすることもできなかつた。

「以前、あの人の姉さんが、『雪樹』の家から、同じ勝代といふ名で出て居たことがありました。その時分、その姉さんの勝代さんを大層ひいきになすつたお客さまですの」

「あゝわかつた！ それは、嘉村といふ銀行家だらう」

「まあ、あなたは、能く、御存知ですのね」

「さうか――嘉村が――」

伸一は、耳へははいらない。姉が、また何か言つたけれど、……

どんな苦しみをして居るか知れない妻に對して、甚だ濟まないやうにも考へられる。

伸一が、默つてしまふと、姉も默にテレてしまつた。彼女は、今いで餅のはなしを持ち出して、その場を取り繕ろはうとした。

「あなた、勝代さんの、あの縁談お聞きなすつて――？」

「あの縁つて――どんな縁？」

伸一の心は妻への空想から、呼び戻された。

「あの人の、縁談をしやう、といふ人が現はれて來たんですの」

「えツ、勝代さんの、縁談をしやうといふ人が――」

伸一はギヨツとした。不意に目の前に餘が現はれたやうにギヨツとした。思はず膝を立て直して、耳を注意する。

「でも、勝代さんは、そのお客さん嫌ひで、どうしても厭なんで……

觀兵式愈よ明後日

交通遮斷は 九時四十分と、十一時廿分
中止の際空砲五發

十日の大典觀兵式當日は鹵簿御通過に際し市内一般の交通は午前九時四十分からと同十一時二十分からと二回に遮斷し當日雨天その他の事情で式を御中止の場合は午前六時空砲五發をうつて市民に知らせることゝなつてゐる

在鄕軍人と 觀兵式拜觀注意

在京在鄕軍人で十日の觀兵式拜觀希望者は當日午前八時までに寛城子游動隊手前約二百米の左側空地に集合されたいと、なほ天候その他の關係で觀兵式が中止される場合は午前六時に號砲五發をうつことゝなつてゐる

觀兵式拜觀 聯婦會員へ注意

來る十日滿洲國皇帝親臨のもとに擧行さるゝ大觀兵式に參觀する新京聯名婦人會員は服裝を見苦しからざる程度とし交通遮斷時刻、午前九時四十分前に航空會社前に樹てある標識に從ひ入場會旗の下に集合さるべしとの注意があつた

觀兵式豫行 取止め

八日飛行場で行はれることゝなつてゐた大典觀兵式の豫行演習は降雨のため中止となり今回は豫行演習は行はれないことゝなつた

鞄を所持し徘徊してゐるを檢擧取調べたところ新京城内生れ住所不定李奎武(四五)とて同日午前十時ごろ吉野町森野商店の店先で前記手提鞄を竊取したが犯人は昨年十二月十日本橋通三十番地ペトロフ商會で客を裝ひ店員の目を盗み銀狐首卷一個時價四百圓を竊取したことを自白した

營口方面大暴風

【營口國通】七日早朝から營口一帶は凄い暴風で黄塵萬丈の文字通りで一寸先きも見えぬ狀態であるが、幸ひ交通事故もなく、夜に入つては雨さへ加はり、ひどい荒天であつた營口觀測支所の觀測によると黄河流域にある七五三ミリの低氣壓の祟りで、日本中部地方、朝鮮半島の高氣壓の爲進行にぶく尙風速十二米を越え本年最初の記錄的暴風であると

赴日軍官一行歸京
歡迎の感謝を
應中將に代り小野少佐語る

櫻咲く春の日本を訪問し約一ケ月に亘り軍國日本の陸海軍各施設機關を具さに觀察した滿洲國中央陸軍訓練所付應振復中將一行二十六名は七日午後七時半着ハト號で張海鵬上將多田少將其他軍政部幕僚多數の出迎へを受け歸京したが一行の指導官小野少佐は應中將に代り左の如く語つた

全三十日に亘つて日本陸海軍の諸施設を見學しましたが見聞するものが總て目新しく學ぶべきものばかりで殊に嚴肅な軍規と軍備の威容には感激の外ありません

でした、見學に當り朝野各方面よりの至れり盡せりの御歡待もさることながら時に觀櫻會や觀兵式にまでも參列の榮を賜り感激に堪へません

國を擧げて我が滿洲國を指導される善隣日本に對し御恩報じをしなければならぬと固く心に誓つた次第です

尙一行は八日午前八時軍政部に集合、張軍政部大臣に報告を爲し同九時鄭總理、十時菱刈司令官を訪問、十一時皇帝に謁見を賜ひ、午後六時より大陸春に於ける軍政部大臣の招宴に臨む筈である

腰站貯水池 起工式を觀る

躍進的增加を示しつゝある國都新京の人口、之に對する完全なる給水は當局の最も頭を惱ましたところで、研究に研究を重ねた結果、双陽縣下小河台腰站と稱する凹地に堰堤を築き、その貯溜水を利用する計畫成り急速に萬般の準備を整へ五月七日を期し堰堤を築く中央部に池を相し起工式を擧行した、國都建設局より案内を受けた在新京の各機關代表新聞、通信關係者は一應同局に集合バス數台をつらねて現場に向つたが、舊長春南關の全安橋を渡り東南へ東南へ國道局が畠中に新たに開鑿構築した新道を驀進、途中路面脆弱自動車のタイヤ役する ため難進の約一キロを突破し一時間半餘で漸く新京を隔る十八キロの目的地に達した

×

既に工事は始められ岩石を覆へし、地殼を剝ぐるに働く數千の人夫、營々蟻の如く、各種工場の建築は軒をつらね突如として起つたこの土木工事に人力のすばらしさを示してゐる、堰堤をむすぶ一方の山上から一瞰すれば遠く近く柳の林、杏李花咲く家が點綴し風光明ひ、蕪てこゝに堰き止められた水が一大湖水所謂浄月潭となる曉を思へばそれからそれへ、當局が云ふ遊覽地として都人を迎へるやうになることも近き將來であらう

定刻より遲れ三時半、式場に參集神官の祓式、獻饌、降神の儀祝詞奏上、國都建設局長の鋤入れの式、昇神の儀、撤饌等型の如く終り、設けられた宴席に就き、靑葉の仕出し料理に、八千代の美妓總動員で酒間を斡旋し、其間局長の挨拶、直木博士、双陽縣長の祝辭、工事請負榊谷組代表の謝辭、尙重住水道科長の工事概要談があり、芽出度く起工式を終り、前後して歸京したが往復とも沿道の要所々々には軍警を配し參會者を警護するなど用意周到なものであつた（十河）

「押しの一手で 本社でも毛嫌ひ者さ」
朗かでスマートな好男子
神崎新副所長打診

奉天地方事務所地方係長から新京地方事務所副所長に榮轉した神崎登氏は七日午後七時三十分來京、八日午前十時地方事務所に初めて顏を出したが、噂に聽く通りのなかなかの好男子で、誠に洗練されたものの快活で、氏は謙讓な態度で

『實は家探しにやつて來たまでです、新京へは數回參りましたがいつも朝來て晩歸るといつた具合で地形もろくろく知りません、どうか吳れ〻も宜しくお願ひしたい、滿鐵では大正十三年入社し社會課などにゐましたが、地方部關係は全くの素人です、地方としては奉天に二年、それも最初は工廠にゐて地方事務所は一年數ケ月です、感想?抱負?、そんものは全然ありませんよ、皆樣のお引立によつてこれからうんと勉强致したいと思つてゐます、何分性來短氣の方で一寸したことでもガミガミ本社に出掛けていふものですから、本社でもなるべく出掛けて吳れるなといつて嫌遠されてゐる位ですよ、ハハハア』と朗かに笑つたのち

『しかし世の中は押しの一手だよ、僕のやうな馬鹿でも相手にして吳れる所以はね』

と誠に頼もしい一言を殘して記者との會見を終つた、氏は奉天在任中例の工業地百萬坪の設定問題をみごとに片付けた程の手腕家であり、首都新京の副所長としては蓋し最適任者だらうといはれてゐる

なほ氏は八日午後四時三十分發で一旦歸奉のうへ殘務整理をへ二十日過ぎ正式赴任の豫定である

西廣場五年生 旅大の旅へ

既報、西廣場小學校第五學年男女兒童百九十三名は篠原、大室　今村、清水、齋藤の諸先生に引率されて八日午前十一時三十分發列車で旅、大旅行に出發した、この日兒童たちはリックサックに水筒、手提カバンにハンカチ持つてお母さん、お姉さん、お父さんに手をひかれて九時半ごろからポッポッ停車場に集り十一時には二百に近い小供さんたちで新京驛待合室は身動きも出來ない狀態、十一時十分勢揃ひして特別增結の二輛に分乘してわいわい騷ぎ出す、「いつてらつしやい」「いつて參ります」「あぶいところに行かないで」「喰べ物に氣をつけなさい」と五日の旅行を氣遣つて思ひ〻に注意する母さんのいひつけも耳に入れるか入らぬか、小鳩の如く飛ひ廻る兒童を乘せた列車は十時半ゆるゆる滑り出した、なほ一行は十二日午後六時五十五分着列車で歸校の豫定

三大疑獄 控訴公判開始

（東京國通）小川平吉外十八名の私鐵疑獄、天岡等の賣勳疑獄、藤田の合同毛織疑獄三事件合併控訴公判は東京控訴院で午前九時四十分より開始村上檢事の論告に入つた、論告は事實論と求刑の二つに分れ被告等は豫審の供述を飜へしてゐるがどちらが正しいか明かにすると公判廷の否認を片端しから反駁し鐵道の件から事實の解剖をなし法廷では犬上等の贈賄は皆春日への報酬で小川への贈賄でないと辯解してゐるが豫審では春日を通じて小川にやつたものだと認めてゐるのみならず諸般の事情を考察すれば小川への贈賄の事實は一點の疑問の餘地なしと論じて一審判決の無罪を駁擊、十一時十五分休憩し午後一時より更に再開することゝなつた

滿鮮第一の雄羅 トンネル難工事 明年七月末貫通

【大連國通】日滿交通連絡の最短距離として將來の發展を豫想され重視されて居る雄基羅津の兩港を繫ぐ雄羅鐵道は目下工事進行中で明年十月には完成の豫定である、延長十五キロに過ぎないが雄基驛より九キロの地點に長さ三千八百五十米の滿鮮第一と稱される雄羅トンネルの難工事が横はつて居り、同トンネルは昨年四月に鐵道工業、西松組の請負で着工されてゐるが、全部花崗岩より成つてゐるので非常に堅く工事は一日に三米五〇乃至四米の進捗でこれを兩方より進めてゐるから七米乃至八米に過ぎない、總工費は一米につき六百圓餘總工費二百六十萬圓を要し來年七月末には貫通の豫定である

米國駐在武官 木下中佐等 自動車と衝突重輕傷

（ミルフォード『コアエティカット州』六日發國通）陸軍省技術本部附米國駐在武官木下清三郎砲兵中佐、同飯田孝作砲兵少佐、同神田實航空兵少佐及び他一名を乘せた自動車が六日當地に於て米國人操縦の自動車と衝突し木下中佐は重傷を負ひ、飯田、神田兩少佐も輕傷を負つた

割烹着と 白襷の制服 國防婦人會操典

【東京國通】全國に五十五萬の會員をもつ大日本國防婦人會に對し陸軍省では操典を作つたが、公式制服は割烹着と白襷である

幸生丸坐礁

【函館國通】大連大同物產所有汽船幸生丸(四、五〇〇噸)は下關からカムチャッカに向ふ途中六日午後九時半頃計吐夷島附近に於て坐礁し七日午前十時頃に至り浸水甚だしく船内十二呎に達し目下盛んにSOSを發しつゝあり函館よりは早鷹丸が現場に急行した

平野少將逝去

【東京國通】男爵、議員、平野少將は膽朕結石で七日午後一時逝去した

松浦伯逝去

【東京國通】舊平戸藩主松浦厚伯爵は七日午後一時急性腹膜炎で逝去した

駐米木下清三郎 中佐死去

【ミルフォード「コネテイカット州」七日發國通】自轉車事故により重傷を負つた陸軍技術本部附米國駐在官木下清三郎砲兵中佐は七日拂曉遂に當地病院に於て死去した

室町校女兒 自轉車で怪我

八日午後一時頃放課後の小學生が自動車で怪我をしたとの急報に室町校では居合せた敎員が馳けつけたところ大和通り金光敎前路上で同校二年生北門外五馬路鶴田定夫氏長女眞砂子さん(九才)が倒れてゐるので受持の松崎先生が直に滿鐵醫院に連れて行き診察を受けた處左足首を骨折し居り轢いた奴は何者か不埒にも逃走してしまい不明であると

拾ひもの

▲長春縣梁家鑪馬車夫朱河氏は七日午後十時ごろ驛前で車上に客が置き忘れてゐる小型トランク一個を發見届出た

けふの銀相場

鈔票對金票	一〇九、四〇
現大洋對金票	―
現大洋對鈔票	―
國幣對金票	一〇四、二五

凱旋選手歡迎！
感激溢るゝ祝賀會

寫眞はプラットホームに立つた選手一行（前列）

大連滿鐵運動會でみごと連續優勝した、わが新京チームは七日午後七時三十分晴れの凱旋をした、これより先き選手一行出迎へのため上田賢象氏上原室町校長、野村社會主事細川本社取材部長その他新京スポーツ界の人々多數詰掛け一行は獲得した優勝盃を手にがて驛食堂において新京體育聯盟主催の歡迎祝賀會に臨んだ、まづ上田氏の發聲で凱旋選手の萬歲を三唱し、野村社會主事および上原校長からそれぞれ聲淚共に降る感激の祝辭がありこれに對し、選手一行を代表し松崎監督が立つて經過を報告して謝辭に代へ最後に本野体聯陸上競技部監督の發聲で競技部の萬歲を三唱終始感激溢るゝ裡に同九時散會

官印僞造の 弘中送局

既報、滿洲國政府の印鑑、小切手を僞造し朝鮮銀行から一萬五千圓を騙取せんとして發見、新京署員に逮捕された入船町三丁目三番地元滿洲總務廳特別會計係弘中忠夫(二八)は取調べの結果、有價證券僞造行使、印章僞造行使及詐欺罪として一件書類とゝもに身柄を七日午後三時五十分新京總領事館檢事局に送致した

中谷刑事捕ふ

七日午前十一時ごろ新京署中谷刑事が市内南廣場附近を密行中擧動不審の滿人男が手提

新京驛の辨當 愈よ近く賣出
上は四十錢中が三十錢で
得丸氏が出願濟み

從來構内辨當立賣りの便宜がない新京驛では建國以來乘降客數が倍加し奥地行き視察團移住者ともに增加し、京圖線と滿鐵本線との連絡もなつた今日、ますますその不便を感じてゐたが、さきに新京千鳥町得丸助太郎氏から構内辨當立賣營業願ひが驛長に提出されたので新京驛では旅客サービスの一端としてこの實施を期し鐵道部に申請をした、なほ願書によると辨當は中が一個三十錢上が一個四十錢程度のものである

我極東選手
申込競技種目及び選手決定
九十度の暑さに閉口

【マニラ七日發國通】七日到着の我が日本選手一行は旅の疲れも蹴飛して元氣である、午後二時から野球は軽い練習をなし見物の邦人連を喜ばした、陸上も午後四時から練習水泳は午後四時半から久し振りにプールにつかり泳ぎ廻つた、練習後は選手一行は日本クラブで支那食の晩餐を共にし夜になつても下らぬ九十度以上の暑さに閉口し乍らも初練習と歡迎攻めの疲勞もあり自重して九時過ぎにはベッドに入り第一夜の夢路に入つた尙日本クラブ内の本部では午後七時半から各チーム代表を集め統制委員會を行ひ明日提出の各競技種目申込みを左の通り決定した

陸上競技

△百米　吉岡隆德、阿武巖夫、谷口睦生、補缺…田島直人
△二百米　吉岡隆德、谷口睦生、阿武巖夫、鈴木聞多、補缺、增田儀
△四百米　吉住猛、鈴木聞多、增田儀、相原豐次、補缺張星賢
△八百米　靑地政磨夫、菅沼俊哉、富江利直、内田講
△千五百米　田中秀雄、露木健造、内田講、柳長春
△一萬米　柳長春、名島忠雄、田中秀雄、露木健造
△高障碍　淸水孝太郎、村上正、淺川正一、稻井行雄、補缺、安達淸
△中障碍　市原正雄、陸口正一、大野嘉夫、稻井行雄、補缺、張星賢
△走巾跳　田島直人、原田正夫、大島鎌吉、鹿内漁吉、補缺、朝隈善郎
△走高跳　安達淸、村上正、矢田喜美雄、朝隈善郎、補缺金木房雄、赤羽正次
△棒高跳　大江季雄、松本伊和夫、金木房雄、安達淸
△三段跳　田島直人、原田正夫、大島鎌吉、小椋啓二、補缺、安達淸
△砲丸投　阿部功、神代義郎、藤田喜代次
△圓盤投　菊本耕作、藤田喜代次、劉約翰、齊辰雄、補缺、阿部功
△槍投　長尾三郎、鈴木源三郎、赤羽正次、劉約翰、補缺、吉住猛
△四百米繼走　吉岡隆德、谷口睦生、阿武巖夫、鈴木聞多、田島直人、原田正夫、增田儀、吉住猛
△千六百米繼走　增田儀、鈴木聞修、吉住猛、張星賢、相原豐次、市原正雄、吉岡隆德
△五種競技　粂田秀治、鹿内漁吉、劉約翰、鈴木源三郎
△十種競技　金木房雄、齊辰雄、小椋啓二、大江季雄、朝隈善郎、村上正

大會を前に 十一日三國代表 ラヂオ放送

【マニラ七日發國通】八日支那チームの來島により三ケ國全部揃ふわけであるが大會前日の十一日午後七時半には平沼、バルガス、王正廷の諸氏が夫々約十分間ラヂオ放送を爲す事となつた、日本にも中繼打合せ中である

菱刈全權歸京
久し振りに打寛ぐ

關東長官として行政事務諸般の視察旁々櫻花爛漫の旅順で日滿顯官を招いて大觀櫻會を催し、久し振りで打ち寛いだ菱刈關東軍司令官は七日午後七時卅分着の「ハト」號で歸京した、驛頭には岡村參謀副長以下軍幕僚、谷參事官、滿洲國側張海鵬上將、多田軍政部顧問其他日滿官民多數の出迎へを受け宵闇の雨の街を一路歸邸した

初夏は招く（上）

味覺の世界へ！
西瓜の進軍
まさに西瓜黨には萬々歲

かゞやかしい夏への前奏、味覺の世界に躍るけふの寵兒は初夏の陽ざしを避けて店頭に盛らるゝ果物の山である、なんとそれは吾々都會人に取つてはフレッシュで而かもこの上ない懷しきものではないか、これから果物としてはメロン、西瓜、イチゴ、桃、杏、バナナ等、々、その色もとりどり形もさまざまである、が中でも最も大衆的で果物界の王座を占るものはなんといつても西瓜であらう

◇――◇

さて今ごろ店頭に上る西瓜の生國はといへば主に台灣產である、スピード時代の今日台灣の西瓜が新京にお見日えしたところで別に不思議はないが、これが十年昔の長春では恰度四月の末頃になつても一貫目もあらう西瓜なら悠に十圓以上も取られたといふから大變だ𥁕土へのお土產に病人さんが喰ふ位が關の山だ、とは嘘のやうな眞實の話である

◇――◇

本年の西瓜について聽いて見ると新京市場では百匁十二錢から十五錢といふ昨年の百匁二十錢程度に較べては大變な安値だ、これは產地の豐作にも起因するが、最も大きな理由は滿洲景氣が渦卷くところ新京へ、新京へと、日ざす西瓜の進出が盛んになつたからである、もつともたゞ一口に西瓜々々といつても種々樣々質も多種多樣である、がしかし今年の西瓜は相當產地でも品豐富らしく、今に出盛りの頃にでもなれば値段もうんと安く、おいしい西瓜が頂けるであらう、とはまさしく西瓜黨に取つては萬々歲である（へ寫眞は早くも店頭に現れた西瓜の山）

ガスを經濟に使用するには？？？（上）

南滿瓦斯新京支店　青木哲兒

家庭燃料としてのガスが經濟的であり便利であり又衞生的であることは、皆一般よく御承知のことでありまして、その普及も日と共に進んで只今では「瓦斯がなくては生活が出來ない」それ程まで我々の實生活になくてはならぬものの一つとなつております現在新京ガス會社のガス需要家戸數は約四五〇〇戸で一日のガス使用量は約二二萬立方呎を越えんとしてゐる狀態であります

さてこの文化燃料であるところのガスも之を取扱ふ御方の御使用方法如何によつては、或は不經濟ともなり又不衞生ともなつて燃料本來の特長も可惜失はれてしまふような結果となつて參ります、そこで私共が平素皆樣に御願致したいことは「ガスを上手に無駄のないように使つて戴きたい」といふことであります、よく「ガスは便利だが料金が高い」と云ふ話を耳にしますが私共は實に遺憾に思つてゐる次第でありまして、之は折角の廉いガスを高價に使用される譯で、之等は一寸とした御注意によつて防ぐことが出來るのであります

然らば如何にしたならば無駄のない樣ガスを使用することが出來るかと申しますと

一、先づガスを完全に燃やすこと

二、次に燃やしたガスの熱を出來るだけ餘計に利用すること

此の二つの事柄が完全に行はれたならば取扱としては申分なくガスの使用量は著しく節減されてくるのであります

先づガスの完全燃燒でありますがガスを燃やすには空氣の補給が必要であります元來このガスが燃えるには「燃燒」といふ化學變化を起すに必要なだけの酸素、云ひ換へれば空氣が必要な譯であります、どんな工合に空氣を補給して瓦斯を燃やしてゐるか普通の七輪について說明して見ますと第一圖の如くイなるガス噴出口（ノッズル）から瓦斯が噴出致しますとその噴出する勢につれてロなる空氣窓から此の燃燒に必要な空氣の一部分（第一次空氣）と云つております

第一圖

りますを吸込み、ハなる混合管を通つて行く間にガスと空氣はよく混合してニなる火口（ガスの燃えるところ）に達し、こゝで更に不足の空氣（第二次空氣と云つております）を周圍から取つて始めて完全燃燒するものであります、此際ガスの火焰は明かに二重の圓錐形をなし內部には山形の靑白色の焰が出來、外部には紫靑色の焰が出來ます、このときが焰として最もよい狀態であります、右の第一次空氣を適當に補給するよう空氣窓を加減することはガスを使用する上に於て最も重要なことでありまして、この空氣の補給が惡い場合、云ひ換へれば空氣窓が全然閉つてゐるとか、或は空氣窓の開けようが足りない場合はガスは完全に燃えず熱のない黃赤色の焰となり、容器には煤を生じ臭氣を發して最も不經濟な使用方法となります、試みに藥罐で湯を沸かす場合、空氣窓を充分に開けてガスを完全に燃やした場合と、空氣窓を全部閉めて不經濟に燃やした場合とを比較して御覽なさい、必ず後者の方が同量の湯を沸かすのに二割も三割も餘計に時間がかゝり從つて瓦斯が不經濟となることが御分りになると思ひます、

第二圖

逆に空氣窓から空氣の吸入量が多過ぎる場合即ち空氣窓を開け過ぎると焰が不安定となり場合に依つては「戾火」と申しまして火が空氣窓のところで燃えて「ゴーゴー」と音を發するようになります、この際は一旦消火して空氣窓を適當に開ければ直ります

皆樣の御台所に取付けてある瓦斯七輪には何れも空氣窓に「ブリキ」製の空氣調整器が取付けてありこれに依つて空氣の加減をするようになつておりますが、若しも取付けてないような場合は會社に御知らせ下さい早速御屆けするようにいたします

次に器具の點火の順序でありますが之は先づ七輪に容器をのせ「マッチ」をすつた後ガスのコック（捻子）を開くようにします、此の順序か前後すると無駄に瓦斯が消費されることゝなり不經濟でもあり又不衞生な事であります、手數を厭つてその儘無駄に燃やしておられるのを見受けることがありますが一年に見積りますと莫大な量を空費することになります

「マッチを惜むな」これはガスを經濟的に使用する秘訣であると申しまして過言ではないのであります

又凡ての器具に共通で最も大切なことは、器具の手入れを怠らぬことであります從來薪炭使用の熱具で「使い放し」の習慣がついて居りますため兎角瓦斯器具の掃除が怠り勝の樣に思はれます瓦斯七輪や瓦斯竈の如き煮汁のこぼれ易いものは掃除を怠りますと、ガスの火口を塞ぎ又は銹を生じ完全に燃えないために時間が余計かゝる許りでなくガス代が高くなります少くとも一ケ月に二三回位は內外共よく掃除して、更に外部は油雜布でよく拭いて載くと器具も永く持ちますし大變結構と存じます

本社特選　名士圍碁對局（七）

互先先番

東京四谷區名望家初段　鳩山一郎

有吉喜兵衛

い　ろ　は　に　ほ　へ　と　ち　り　ぬ　る　を　わ　か　よ　た　れ　そ　つ

●九九 そ十
○百 か四
●百一 か三
○百二 わ四
●百三 わ三
○百四 た十一
●百五 た九
○百六 よ十
●百七 よ九
○百八 か十
●百九 わ八
○百十 を六
●百十一 る七
○百十二 ろ六
●百十三 ぬ六
○百十四 か七
●百十五 よ八
○百十六 を四
●百十七 る三
○百十八 ろ五

本日〇九九より〇百十八まで

一戰記

雲玉山人

左上部黑七十九以降の突擊戰は大成功だつた。見事に敵の心臟を衝き此の大きい數分を獲得してしまつた。左下中央部のボウ大な領地と併せて、此處に全く黑軍の勝形は確定してしまつたといへる。以下白は殘された中央部に進出を試みつゝあるが、甚だ背水の陣に似た感じのする戰局は既に黑軍の勝は明確な事であり、一を望む白軍として全く心細い極みであらう。要するに、本局は既に黑軍の勝は明確な陣であります。

海の外から

燃燒しない「紙」を發明

米國ピッツバーグの發明好きな一青年は過去十五ケ年間の苦心研究の結果、火に燒けない「紙」を發明した、製紙原料は、不燃性化合物を巧に綿絲と混したもので重要條件を之に記して置けば恒久的のものであると折紙をつけられてゐる、從つて名も「萬年紙」の特名を附した

卅五年型自動車

寢台食卓付の仕組み

自動車界の進步、卅五年型セダンの車体には必要な場合座席が直ぐ寢台や食卓に變更出來る仕組みを取り付けることとなり、目下製造會社では大量急造中であるが可成り賣行盛んなる模樣である

黑人大統領出るか

伊國紙の諷刺論調

最近の伊國紙イルポポロ新聞は黑人が將來米國大統領になるだらうと左記面白い諷刺的主張を掲載した、米人は財界不況の爲め享樂主義をとり明日を顧みる暇がないといふので盛んに避任に努力してゐる反面に米國で千五百五十萬人の生產力盛んな黑人がゐるから將來アフリカ化した米國が出來上り大統領も彼等の內から選出するであらうと

獨乙消防隊の新威力ポンプ

獨乙マンハイム消防隊では放水量每秒千五百立の新威力ポンプを備付けることゝなつた

ラジオ欄

九日（水曜日）新京

午前一一時五分 滿洲音樂全日滿中繼
一、華容道 大觀樓 小平 伴奏樂器 大鼓
二、風雨歸宙 伴奏樂器 双玉班佩輝 八角鼓
同 一一時四〇分 ニュース（日滿兩語）
同 一一時五九分 時報
午後 〇時五分 經濟市況 奉天より、日滿兩語
同 一時 〇分 演藝 滿語 蓮香班 書昇
同 三時二〇分 ニュース 日滿兩語
同 三時三〇分 經濟市況 奉天より、日滿兩語
同 四時三〇分 ニュース 日滿兩語
同 四時四〇分 ニュース 滿語
同 四時五〇分 ニュース 鮮語
同 五時 〇分 英語
同 五時 〇分 子供の時間 奉天より
同 五時三〇分 時事解說 滿語
同 五時五五分 番組豫告 氣象豫報 滿語
同 六時 〇分 ニュース 東京より
同 六時二〇分 講師 滿語講座 高宮盛逸 日語講座
同 六時四〇分 講師 植松金枝
同 七時 〇分 常磐津 三世相錦繡文章（仲町福島の段）
浄瑠璃 常磐津若太夫
同 常磐津仲佐太夫
三味線 常磐津仲重太夫
同 常磐津仲藏
上調子 常磐津仲三郎
同 漫談 ラッキーセブン辰野九紫の作 山野一郎
同 新講談（其ノ二）伴奏指揮 中賀神 味津男
同 八時三〇分 ニュース 時報 批准交換芝栗談判 伊藤痴遊
同 八時四五分 ニュース 東京より 氣象豫報、番組豫告
同 九時 〇分 演藝 滿語 引續ニュース 滿語

映畫

九日より三日間　階下 六十錢

新興キネマ特作現代劇 霧の夜の舖道
彼と彼女がランデヴーの夜、街で可憐な少女を拾ひました而し其の娘は大變美しかつたので
次のランデヴーの夜の舖道の霧は冷たくなつたと云ふ
スバラシイコヒのオハナシ
サンデー每日（公衆電話の女）改題
河津清三郎 桂珠子 主演
山縣直代 由利健次 原靜枝
原作……長谷寬
監督……田中重雄
カメラ……中井朝一

日活超特作明朗カレッヂ篇 見染められた青年
學生豪傑、辻建一君は應援團長としても、嚮の人氣を一身に集めてゐた、卒業後、幸ひに就職口もあつた
鈴木傳明 主演
星鈴子 星ひかる 大原雅子
關時男 一木禮二 大崎史郎
原作……小松 葉州
監督……鈴木重吉
カメラ……三浦光男

日活特作時代映畫 月光人斬橋

新進、未來を嘱望されてゐる久見田喬司監督作品
芝田新 杉狂兒 大倉千代子 片岡英二 共演
中堅俳優熱演の銳氣篇

新京キネマ 電話二〇六八番

八日より二日間 每日晝夜二回公開 慣例奉仕興行 大人四十錢 軍人學生二十錢 小人十錢

松竹蒲田特作品 十九の春
五所平之助監督作品
●伏見晁作オリヂナルストリー
●伏見信子入社第一回作品
水久保澄子 山內光
阿部正三郎 小林十九二
竹內良一 飯田蝶子
突貫小僧 助演
十九の春に幸あれ！
十九の春に惠みあれ
この一篇を若き女性に捧ぐ
人生の春、娘時代の朗らかさを稱へ！十九の娘の感傷を描く、五所イズム全篇に漲る名篇

松竹下加茂特作長谷川伸原作 多島泰三監督 刺青判官
林長二郎二役主演 井上久榮
飯塚敏子 小泉嘉輔
新妻四郎 助演
中村吉松
オール、スターキャスト

蒲田愛國映畫 非常時日本の同胞に捧ぐ！ 前衛裝甲列車
結城一郎 花岡菊子
小林十九二 主演

長春座

八年度

滿鐵貨物輸送 新記錄を劃す

總量千八百八十二萬キロトン

滿鐵々道部昭和八年度貨物輸送キロ數は前年度に比して十四パーセントの增加を示し計一千八百八十二萬キロで滿鐵創業以來の新記錄を出したがその原因は南滿洲特產物及輸入貨物の激增に伴ひ社線發一般貨物二十二パーセントの增加、撫順炭二十八パーセントの增加によるものである、これに比して北滿貨物發送は前年に比して齊北線發五十九パーセント、北鐵線發四十三パーセントといふ激減で北滿貨物の出廻り不振を如實に示してゐる

春蠶掃立豫想 蠶糸會發表

【東京國通】四月二十日現在に於ける春蠶掃立て豫想數量は七五、五六六、二三一瓦にして前年實數八一、一九八、四五一瓦に比し六分九厘の減少を示してゐる

英國等の關稅障壁は 事實上不可能

アフリカ商品巡歷の宮地氏談

【神戶國通】日本品見本市をアフリカ各地で開く爲め過般アフリカに渡つた大阪福島洋行宮地氏、名古屋淺井商店吉田氏、神戶南信商店伊藤氏等の三氏は七日神戶入港の大阪商船『まにら丸』で歸朝したが、宮地氏は左の如く語つた

我々一行は昨年九月七日出發しエヂプト、リスボン等を經て西アフリカ、カナリー島、ダカール、ベルギー領コンゴ、ロデシヤの諸國を巡歷、各都市に於て日本品數千點の展覽會を行つたが各所に於て非常な歡迎をうけた、西アフリカの產物は値下りで購買力減退し各國品は到底販路を開拓する事は絕望の形であるが日本品のみは價格が安く有望視されてゐる

英國始め歐洲諸國は屬領の關稅引上げを敢行しようとしてゐるが結局一般住民の購買力が無いから之は事實上不可能な問題である、假令英國が强制關稅引上げを計つても國境は不明であるし又關稅賦課をうける貨物を一々調べる事が出來ないと云ふ狀態なので大した打擊はない、將來の競爭國としてはドイツ、イタリー、チエッコ等の諸國であるが之等との競爭も差して打擊とはなるまい、日本品も上等のものよりも下等の商品の方が文化の低い住民に適當である

弗價安定で 內地市場正規の レート回復せん

【東京國通】最近の內地爲替市場は一にかゝつて米英クロスの動きで左右されてゐるが此の米英クロス自體もポンド貨は常に受動的立場にあり、一に弗自體の動きにかかつてゐる狀態である、從つて正金の五行のアクセプタンスレートは何れも對英は四月四日以來一志二片十六分の一と焦げつきの儘であるが、對米は米英クロスの動き一つで屢々變更を行ひ正金の建値變更の如き弗貨自體の運動に順應して上げ下げしてゐるのが現狀である、從つてル大統領が珍奇な政策を放送したり或は實施する事に依つて正金は對米レートを急激に上下する事は豫想されるが昨今の米國財界を注視するにル大統領は銀ブロック議員の要求には承服しまいし又弗貨再切下げ權限を殘してゐるものとは言へ大統領は漸次健全通貨主義に立戾らんとする形勢が察知される事ろから弗貨切下げによる物價高の期待外れから見ても當分の間實施される氣遣ひはなく今後の物價吊上げは一般的商取引の回復に期待するものゝ如く、例の爲替平衡資金二億弗のニューヨーク準備銀行移管は寧ろ右目的から出たものであり爲替を安定せしめ以つて一般商取引の改善から物價高を期待するものゝ如く從つて弗價の安定と共に米英クロスも落着き正金の建値据置に伴つて內地爲替市場も貿易關係に基く正規のレートに戾り一に需要關係による小波動を繰り返すのみで大勢的に靜穩狀態を持續するものと觀られてゐる

乙種銀行 單獨利下不可能

【東京國通】東京、大阪兩地に於ける乙種銀行は預金の利下げを決定し定期に於て二厘特別當座預金に於て一厘の利下げを行ふとの報道があるが確實筋では乙種銀行單獨利下げは不可能であり且又利下げを行ふとすれば右の率よりは更に大巾の率とする必要ありとて此の問題は未だ如何とも決定してゐないと否定

佛對滿投資社長 藏相と投資 問題懇談

【東京國通】フランスの對滿投資會社々長マスネイ氏は佛大使の紹介により七日午後二時五十分藏相官邸に高橋藏相を訪問し對滿投資問題等に就き懇談をなし、同三時二十分辭去した

我國富高 千九百二億圓

【東京國通】內閣統計局編纂の帝國統計年鑑によれば昭和五年の我國富高千九百二億圓內官有は一割二分、公有は四分、私有は八割四分である

鮮農の耕作は 省內居住者のみ許可

興安南分省新方針各旗に公達

興安南分省に於ては最近鮮農移住者が漸增し滿人農民を次第に壓迫する傾向があるに鑑み興安總署では對策研究の結果爾後鮮農の耕作を申請し來る場合は現在省內に居住し居る者に限りこれを許し今後移往者には許可せぬこと、なし左の如き耕作許可の方針を設け管下各旗公署に公達した

一、興安省內に現住の鮮農で旗公署に耕作申請の際は鮮農小作人組合を組織せしめ旗公署との間に耕作契約を締結し、分省を經て興安總署に申請せしむ

一、耕作契約の期間を八ケ月とす、該期間內に延長或は短縮の必要ある時は事情を附し總署に申請し許可を受くべし

奉天省十縣の 金融合作社 の業務成績

既報の如く金融合作社は愈々本年度より大々的に普及新設を見る事となつた、既に大同元年度より設立され非常な好成績を擧げてゐる奉天省十縣に於ける金融合作社の現在狀況（三月末現在）は左の通りである

社名	業務開始	社員數	貸付金	預り金
瀋陽	大同三、三、七	七四七人	二一〇、一〇〇圓	九六、四〇二圓
復縣	同　五、五	一九九	八〇、七二五	九〇三
鐵嶺	同　三、二二	五九三	六、一三〇	九〇五
遼陽	同　三、二二	六二四	三〇、五七〇	一、一一〇
撫順	同　一、二三	五三六	二、九一五	一、八六六
開原	同　三、一、一五	六二四	一四、九六五	六、七〇〇
錦縣	同　一、二六	二六七	三、八九〇	二三三
蓋平	同　二、一	四九三	五、五二〇	一、一〇六
興城	同　三、二六	三六一	八三〇	二六、六九〇
凌源	未　定	一一七		
計		四、六三二	三五五、六三五	一三八、〇六三

日滿經濟ブロック 結成基礎資料（芸） 產金資源について（上）

資源要項（滿洲產業統計による）

金埋藏量　四十五億圓乃至五十五億圓（推定）

砂金產出高合計　約三百貫（推定）（六年）

黑龍江省金鑛（十九鑛區）約百九十貫（推定）

一、額爾古納河右岸…イ、奇乾河金廠　ロ、吉拉林金廠　ハ、三河地域

二、黑龍江右岸…イ、漠河金廠　ロ、開庫康附近　ハ、伊昔肯河流域　ニ、富拉罕金廠　ホ、呼瑪金廠　へ、餘慶溝金廠　ト、寬河流域　チ、達音河流域　リ、逢源金廠　ヌ、法別拉哈河北岸ル、愛揮附近　ヲ、觀都金廠（其他小規模のもの七鑛あり）

三、松花江左岸…イ、梧桐河砂金場　ロ、赫金河流域

四、嫩江流域…興安金廠

吉林省金鑛（二鑛區）約百十貫（推定）

イ、棱川金廠　ロ、延和金鑛　ハ、夾皮溝

奉天省金鑛

イ、鴨綠江上流報馬川金鑛　ロ、鐵嶺東方柴河堡　ハ、岫巖北方の三家子等其の他小規模のものあり

其の他全滿に亘り產金地として知らるゝもの相當あるも產出高不明なり但し昭和八年夏季本邦專門家の調査によれば實際上の採金額は統計面に現はれたるものよりも遙かに多き見込なり

本資源の利點及缺點

利用すべき諸點

一、滿洲の砂金は埋藏量多く且つ內地朝鮮に比し一立坪內に於ける含金量多し

二、滿洲の產金は殆ど砂金なるを以て金鑛に比し採取容易なり

三、砂金鑛中、最も有望なるものは黑龍江の上流露領ネルチンスキーザオード大砂金場に連絡せるアンガラ栖狀地帶の砂鑛床にて極めて廣大なるものと推定せらる其の他黑龍江省の逢源、興安、吉林拉、梧桐河、赫金河、伊昔肯、呼瑪河各金廠吉林省の稜川金廠等は現に稼行せられ產金額多し、（十貫以上）又鴨綠江沿岸方面の金廠及砂金地も將來精査の價値あり

留意すべき諸點

一、寒氣のため採取期間短く隨て稼行費を高からしむる不利あり

二、砂金以外の金鑛は各所に散在するも盜掘、濫掘の結果廢鑛となれるもの多く現在稼行中のもの皆無なり、例へば曾つて盛んに採掘せられたる吉林省夾皮溝の如き最も有名なるも既に水準以上の富鑛部は全部掘盡されて出水のため廢鑛となれり但し水準以下には尙相當の富鑛ある見込なり

我國策上より見たる利點及缺點

利用すべき諸點

一、我國現下の狀勢は益々多額の金を必要とするや勿論にして我投資及技術による滿洲國の產金增加は延いて我國の經濟力を强固にし對外信用を增加するに至るべし

備考　昭和七年輸出高一億一千二百萬圓、六年四億一千九百萬圓

滿洲國の產金增加し我國にて之を買上ぐる場合は我國の正貨準備を增加すると共に我物資の對滿輸出を一層旺んならしむべし

三、滿洲國の產金增加は將來我國と同樣滿洲國に於て金本位制の採用を容易ならしめ其の結果我投資及貿易上に齎らす利便大なり

留意すべき諸點

一、產金地方は治安及衞生狀態極めて不良なるため邦人の進出には相當保安衞生機關の充實を要す

二、現在主要產金地帶に於ける含金層の大部分は既に土法採金により掘盡されたるの感あるを以て今後は主として表土厚く湧水多き未調査區域に於て機械力により金源を探査せざるべからず從て巨額の資本と優秀なる技術を要し且つ產金コストを高からしむる虞あり

三、滿洲國產金買上げのためには適當に買上價格の引上げを要す

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分一
同　遠限	一九片八分一
孟買銀塊	五三留比〇〇〇
紐育銀塊	四五仙二分一
米英爲替	五弗一〇仙八分三
米日爲替	三〇弗三七仙
米支爲替	三三弗八七仙
スチール株	四四弗八分五
アナゴンダ株	一四弗二分一

▲米　棉

現物	二仙四五
六月限	二仙二〇
八月限	二仙三三
十月限	二仙四九
十二月限	二仙五九
三月限	二仙七七
五月限	二仙七八

▲印　棉

ブローチ	一九三留比
オームラ	一六八留比
ベンゴール	一三七留比

▲上海標金

本寄	一〇二四〇〇	一〇二九〇〇
歩値	一三三〇	二四〇〇
	一八〇〇	二三〇〇
	二〇二〇	二七二〇
	二四〇〇	二九五〇
	二六五〇	三三〇〇

▲上海日本向

第一回	一〇七三〇〇
第二回	一〇八〇〇〇
	一〇七一五〇
	一〇七七五〇

▲上海倫敦向

第三回	一志三片一六分五
	一志三片八分三

▲上海紐育向

賣値	三三弗八分五
買値	三三弗一六分二一

▲大連金鈔票

現物	一〇九〇〇〇	一〇九六〇〇
近限（先限）	一〇九七〇〇	一〇九九〇〇
寄付	九六五〇	九八五〇
歩値	九六〇〇	九八〇〇

各地市場

▲大連上海向

寄付	九五五〇	九七〇〇
引止	九七〇一	九六〇〇
高値	九六五〇	九七五〇
安値	九七五〇	九九五〇
	九八五〇	九八五〇
	九六五〇	九九五〇
	一〇九一五〇	一〇九三五〇
	一一〇一一〇	一一〇三〇〇
出來高	三三〇萬	六〇〇萬

▲大連煙台向

九七二〇〇　九六三〇〇　二三五　一〇〇　五三〇　六〇〇　六五〇　六〇〇

▲阪神日米爲替

第一回　三〇弗四分一　三〇弗八分三

▲大阪株式

大株新	一三一三〇	一三一〇〇
大紡新	一三三三〇	一三三〇〇
同新	一二四八〇	一二五一〇

▲同　短期

大鐘新	一三二八〇	一三二九〇
東新	一三八二〇	一三六五〇
日產新	一三三三〇	一三三九〇

▲大連株式

五品	二六一〇	=
先限	=	=
豆新	二六二〇	二六二〇

▲大阪三品

當限	二〇八〇〇	二〇八六〇
六月限	二〇八六〇	二〇六五〇
七月限	二〇三九〇	二〇三六〇
八月限	二〇一三〇	二〇一五〇
九月限	一九九一〇	一九八七〇
十月限	一九九七〇	一九六三〇
先限	一九五三〇	一九四九〇

▲大阪棉花

當限	五七三五	五七三五
先限	五八八〇	五九一〇

▲大阪期米

當限	二六八一	二六七七
中限	二六二一	二六一六
先限	二六六九	二六六二

▲仁川期米

當限	二三二九	二三〇七
中限	二三三八	二三三四
先限	二三六五	二三五〇

▲橫濱生糸

現物	五一三〇〇	五一三〇〇
當限	五〇七〇〇	五〇七〇〇
先限	五三〇〇〇	五三〇〇〇

▲神戶豆粕

五月限	三〇一	三〇一
六月限	=	=

▲大連特產

カルカッタ麻袋

青筋	二六留比一六分三
鐵筋	三三留比八分三
爲替	七九留比〇〇〇

◉麻袋

現物　三六〇厘

◎大豆

	寄	引
袋込	三三一	三三六
五月限	三三二	三三四
六月限	三三三	三三七
七月限	三三九	三三二
八月限	三三三	三三五
九月限	三三八	三三八

◉豆粕

現物	一二六三	一二七
五月限	一二〇	一二〇
七月限	=	=

◉豆油

現物	八六五	八八〇
五月限	八七〇	八七〇
六月限	八七五	八八〇
七月限	八七五	八八〇
八月限	八八〇	八八〇
九月限	八九〇	九〇〇

◉高粱

現物	一七二	一七二
五月限	一七三	一七三
六月限	一六九	一七九
七月限	一八一	一八〇
八月限	一八四	一八四
九月限	一六九	一六九

新京市況

	現物	出來高
特產		
大豆	八、三〇	四車
高粱	三、一五	三車
小豆	八、九五	一車
包米	四、九五	二車

◉錢鈔

鈔票對金票	一〇九、四〇
現大洋對金票	―
現大洋對鈔票	―
國幣對金票	一〇四、一五

新版江戶八景（第七話 上臈・舞）

行友李風氏作　挿繪平幡二氏畫

江戶役者と御殿女中　四〇　行友李風

こちらは小兵衞。

遣り手婆に手を借りて、ね卷に着替へ、どてらを羽織つて、控えてゐると、やがて、やつてきましたのが、あひかた。

【今晚は――】

とか、なんとか、いひさして、ひよいと、小兵衞を見ると、瞬間顏色をかへたが、――すぐ、もとにかへつて、座につきました。

むろん、下店の女郞のことですから、禮儀も作法もあつたものでない。

すぐ、これも、ね卷に着替へて小兵衞の隣に座つた。

『おッ、なにしろ、夜が更けたせゐか、滅法寒くなつてやりきれねえ、――酒を早くもつてきてくんな』

『はい／＼、いますぐもつてまゐります――』

まもなく、酒の膳かはこばれます。

『どうも、眼が不自由だから、ひとの酌をうけるのが、面倒でならねえ。――俺は、手酌でやるから、お前も、手酌でやんな』

小兵衞は、あひかたに、さういつて、手酌で、グイ／＼あほりはじめた。

ところが、あひかたの立花花らん。はいつてきたときに、

『今晚は――』

といつたきり、一言も口をきかない。

『ほゝゝ、あんまの旦那は、大分お酒がいけさうでございますね――』

遣り手婆が、その間に立つて、ひとりで、べら／＼まくしたててゐる。

まもなく、――立花花らん。

『あの、小母さん、こゝは、もうようございますから。――』

と、遣り手婆に睨をかけると、

『あゝ、それぢや、立花さん、お願み申しますよ。――あんまの旦那、ごゆつくりなさいまし』

挨拶をして、婆あさんは下つてゆく。

『チヨッ！　二タ言目には、あんま／＼つて、目が不自由だと思つて、馬鹿にしてゐやがる、いやな婆あだ――』

ぶつ／＼いひながら、小兵衞が酒をのんでゐると、――立花花らん、――何を思つたか、つと、立ちあがつて、廊下の障子を開き、あたりを見まはし――、人影のないのをみすますと、ピタリと、障子をとざして、――隣へ座るといきなり、兩手をのばして、小兵衞の胸倉をグットしめあげました――。

『あ、痛た！　な、なにをするんだ』

小兵衞、――目をあくわけにもゆかず、女を手をはなさうとするが、はなさばこそ。

『小兵衞さんの海倚もの！　お前は、マア、何といふ怖ろしい人だらう――』

『な、なにをいふんだ』

小兵衞は、本名をよばれて、ギヨッとした。

『花らん！　お前、なにか、人間違ひをしてゐるんぢやねえか。――いきなり、人の胸にくらひついたり、……俺は、初會だよ。小兵衞なんぞといふ名前のもんぢやねえ。――まあ、そ、そこをはなしてくれ――』

『おふざけでないよ。――小兵衞さん――』

立花は、尙も、兩手に力をこめて、

『長年連れそつた男と、どうして人違ひをしていゝものか。――まあ、その目をあけて、とつくりとあつしの顏を見たがいゝ……』

九星

五月九日　水曜　庚辰　佛滅　閉　宿

●一白の人　計畫を密にし粗漏無きを期せば咎を免かる　丙と辛と亥が吉

●二黑の人　事業の擴張投資には不向の日舊態維持が吉　甲と甲と子が吉

●三碧の人　利を獲んとして却て損害を增さんとする日　乙と辛と亥が吉

●四綠の人　氣運頗る衰退せり諸事意の如くならず大敗　甲と乙と亥が吉

●五黃の人　他に氣を取られて本業を疎かにせば衰微す　士と子と癸が吉

●六白の人　堅實に事を運べば成績優良となる許文注意　己と丁と寅が吉

●七赤の人　事業益々堅實味を加へ永く幸運に惠まる日　巽と丙と丑が吉

●八白の人　功果充分ならねど氣を落さず元氣を養ひ吉　丁と士と寅が吉

●九紫の人　諸事の愉快に展開すべき日普請開店緣談等吉　申と庚と乾が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　五月九日（水）

本紙定價 一部五錢 一ケ月一圓　廣告料金 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二一五・三三〇〇

發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 谷啓二郎

七日起工式を擧げた 浄月潭貯水池

双陽縣小河台腰站に大堰堤　五十萬の給水計畫

國都建設局は七日午後二時から双陽縣下小河台腰站の堰堤工事現場で盛大な起工式を擧行した、國都建設局の招待した各機關代表其他二百餘名參列鍬入れの式が行はれたが右堰堤により出來上る浄月潭貯水地の概要は左の如くである

國都新京水道計畫概要

國都が新京に定めらるゝや市街の發展人口の增加は著しきものあり從て建設局に於ける水道設備も之れに併ひて急施を必要とし永久的水道の調査をなすと共に一方急設的に治水を開始せざるべからざる狀況に立至つたのである、而して此急設的水道としては施工の迅速工事費の輕少水源擴張の容易等を必要とするが之れには鑿井をなして地下水若くは伏流水を利用する事が尤も適當してをるのであるが、當局にて精査の結果によれば地下水は取水容易であるが其水量に自ら限りありて康德二年末位迄の給水を充たし得るが夫れ以後に於て不安である事が明らかとなつた、次で伊通河の伏流は其量は豐富であるが水質不良にして臭氣強く、「アンモニア」を含有し到底飲用に供せられない故康德二年末迄は地下水を利用する急設的水道により得るも爾後は地表水を利用する永久的水道施設をなさねばならぬのである、茲に於て本局は昨年より地下水を以て給水を開始し傍ら地表水利用の目的を以て飲馬河伊通河及之れの支流、小河台河等に就て比較研究したる結果其給水能力、工事費、運轉費、設備の管理或は遊覽的價値等に就て尤も有利である小河台河による事とし河を堰止め其貯溜水を利用する計畫を樹立し貯水工事の一部は數日前榊谷組の手にて工事に着手したのである

而して本水道計畫の大要は次の通りである

一、水源（浄月潭貯水池）

貯水池は南新京驛を東南に距る十八粁双陽街道に沿へる腰站附近に於て兩丘相迫つて山峽をなす地點に土堰堤を築造し流域內の降雨を貯溜するものにて流域其他は次の樣である

一、流域面積　七八、〇平方キロ
一、貯水池面積　四、六六平方キロ
一、貯水量　二七、七〇〇、〇〇〇立方米
一、土堰堤長　五五五米
一、土堰堤高　一九米

二、送水管

貯水池から南嶺浄水場迄距離十二キロで自然流下にて送水するもので管は高級鑄鐵管を用ひ直徑七〇〇ミリである

三、浄水場

南嶺兵舍附近丘地の東斜面を利用し沈澱池濾過場及浄水池を設け此處にて原水を濾過殺菌したる後喞筒にて是を南新京驛前に新設する給水槽に揚水するのである濾過は機械濾過機に依るもので其能力は一日二萬立方米である

四、給水槽

浄水場より給水槽迄は距離六キロで此間に布設する鐵管は直徑七〇〇ミリである

給水槽は容量一千二百立方米高さは附近地面から三十米で構造は鐵筋「コンクリート」造である

槽から四方に配水管を分岐し市內各所に給水するのである

五、工事期限

以上の諸工事は本春解氷と同時に着手し明年十月末頃迄に一切を完成し給水開始をする豫定である、但し堰堤工事は明年雨期の水を貯溜する必要から其主体は明年六月末迄に完成せしむる意氣込である　總体に右工事期間は日本內地の例から見ると非常に短縮せられたるもので、若し本工事が豫定通り竣工すれば短期間工事として一新例を造れるものと考へらるるのである

滿洲帝國の組織法について（七）

法制局參事官　飯澤重一

ところが前にも申上げた通り現在立法院が存在して居ないのでありますから、形式的の法律は全然存在して居らないのであります、それでは法律を以て規定しなければならない事項に關し規定を設くる場合、現在どうして居るかと申しますれば、組織法第八條の緊急勅令に據る事も得ませんので別に組織法附則第四十一條を設け立法院が成立する迄皇帝は參議府の諮詢を經て法律と同一の効力を有する勅令を發布し、豫算を定め及豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲す事に致して居るのであります

此の第四十一條に依つて發せられる勅令は普通の大權に依り發せらるる勅令と異り其の上諭に「朕組織法第四十一條に依り參議府の諮詢を經て……」の文字を入るる事になつて居ります

第八條に依る緊急勅令も現在では總て此の第四十一條に依る事になる譯であります

一六、最後に帝政を施いて、來の滿洲國と以前の滿洲との法制上の差異を要約して申上ぐれば

（イ）以前の民主制を廢して君主制にしたる事

（ロ）君主を神聖不可侵とし別に輔弼負責機關を設けたる事

（ハ）軍令事務を一般國務の外に置き別に輔弼機關を設けたる事等が差異の重なるものと申す事が出來ませう

一七、帝政確立し組織法の制定公布と共に前にも申上げました通り從來の官府組織法は廢止せられました、然し此の組織法と雖も暫行的のものと見る事が出來ませう御承知の如く既に憲法制度調査委員が任命せられ着々憲法實施の氣運が促進されて居るのでありますから其の調査研究を俟つて完全なる近代的意義の憲法が制定せらるる筈であり、其の時期もそう遠い將來ではあるまいと信じます

而して憲法が制定せられた曉には當然此の組織法が廢止せられるのであります

かくて滿洲國も執政々治から帝政へと着實に國家造營の歩を進めて參りました、列國は未だ承認する樣な模樣の見へないのは甚だ殘念の事ではありますが此の滿洲國の嚴然たる存在に對しては長く列國も面を覆ふて居る事は出來ない事と思ひます（終り）

世界に冠たる 安東柞蠶（一）

不況を越へた需給狀態

總說

柞蠶糸と絹紬は人絹の黃金時代にも拘らず世界市場に獨步の地位を占めて居るが、その產地は滿洲に限られ、安奉線及び安東背後地はその有力なる原料供給地であり、一方安東に於ける柞蠶は豆粕、材木と共に三大特產物の一つと數へられてゐる

滿洲に柞蠶の傳つたのは遠く金時代と稱せられてゐるが、安東附近に於て飼育が始められたのは清朝の光緒以後の事に屬する、當時安東縣は朝鮮との國境地帶で正業者も少く土匪の橫行甚しく且つ未開の狀態であつたので李鴻章は土匪の討伐と並行して地方の開發を計り產業の發達に資するところがあつた、且つ當時疲弊し盡してゐた山東省方面より年々多くの移民が移住し來り之等の手に依つて柞蠶業は漸次勃興し來つたのである

併し乍ら明治三十七、八年頃即ち安東地方が南下せる露國の勢力より日本の勢力に移つた頃は僅かに兩三軒の製糸工場があつたのみで且つ製糸家も大枠糸を製糸するのみで現在の如き小枠糸の優良糸を產出するに至らなかつた、日露戰役後渡來せる日本商人はこれが對日輸出を企て、その結果が良好であつたので日本の福井、岐阜等の機業地に輸出するに至り、原料繭の需要も激增し斯業に大なる刺戟を與へたが、更に歐洲大戰の結果大正七、八年頃糸價の昂騰を見柞蠶糸の輸出激增、製糸工場の新設等殷盛を極め、且つ最近の一般的不況時代にあつても依然として相當の需給を有してゐる

國府の米穀輸出解禁で

大連市の滿洲鮮米輸入減少

大連米穀同業組合の調査による大同二年中における大連市の輸入滿洲米および朝鮮米は（括弧內は前年同期）

白米（叺入）二二五、二四二叺（三三一、〇八一叺）▲同（麻袋入）一二、九五〇袋（六一、四八〇）▲籾（麻袋入）一七九、一一二袋（一五八、四六八袋）

で大連市の人口增加に伴ひ當然穀類の需用は增加すべきにもかゝはらず事實はこれに反し籾か僅かに一萬六百四十四袋を增加したるのみで白米は叺入で九萬五千八百三十九叺を麻袋入は四萬八千五百三十を何れも激減してゐるこれは滿洲奧地における米の需要增加にもよるが中國政府の輸出解禁により昨年十一月以降江蘇米がこの期に乘じて殺到したことに大いに原因し近年稀な現象とみられてゐる

荒井畵伯來滿

【大連國通】荒井陸男畵伯は故武藤元帥と鄭總理との間に行はれた日滿議定書調印の歷史的場面を再度揮毫の爲七日「うすりい丸」で來連した

創作 英雄といふもの（十）

永田美那子

二度目の假設電話のベルが劇しく鳴つた、高鵡が受話機を耳にあてた

他のものは、そのまわりを取りかこんで全身を耳にした

「モシモシ解らない……もつと大きくウンウン一輛目が護衛兵百名位ウンヨシ……大きく……ハイハイ」

受話機からかすかな聲がもれる

「ナニ！二輛目はウン夫人連廿四名？」

「たしかもう一人は…」

「一名はどうした…杏目華はゐたか、ナニゐない…ウンウンぢや毒殺說はほんとか？

「そうらしいです！三輛目が男女召使ひと、トランク張作霖に吳俊陞外幕僚十三名に諸道具類五十二、三個、五輛目が……エツエツアミそうです護衛兵六十人位です！」

「ヨーシ、皆んな計畫通り準備せよ」

「先發隊は、今の發車に遲れるな！一足違へば間に合はないぞ！ソレ逃がすな！この期だ！千載一遇だツ……」便衣隊本部の血は湧きかへつた

先發五名は溝帮子で最後の握手を交して降りて行つた

第二隊五名は新民で降りた第三隊は奉天近くの〇〇〇で降りた

仕掛け個所より二丁を距てず二個所に埋め込んだ爆彈は遠くで電氣のスキッチを捻ぢれば爆發するやうに用意された

時間表と、腕時計を見交しながら訝るやうな表情をしたのは、何東漢といふ廣東大學の電氣科を卒へた青年だつた

東三省の地圖の鐵路に鉛筆で點線や橫線を引いて居るのは、鐘友といふ日本の明大理工科出の男だつた

黍畑の葉蔭に佇んで望遠鏡をかざしてゐた沈高鵡は思はず叫んだ

遠くの地平線の彼方に怪雲がムクリと浮び上つたやうに列車の煙りが見え出したのだ

「來た！來た！煙りが見えたぞ！」

「ほんとか!!えつ見せろッ？」

「さあ見ろ！」

「お、そうだ！」

「ぢや溝帮子の方は失敗なんだナ！」

「ウム、先つき無電が這入つたよ！」

「そうか……ヨシぢや何としてもこゝで！」

「さあ來たぞッ」

「各々部處につけッ」

「ソレッ！程覵炳！走れ！スキッチのところへ！」

「ハッ」

「余獻三！念のため裝置個所を調べてこいッ」

「ハッ！」

余獻三は後をも見づに飛び出した

みんなは馳け出して行く余獻三の後姿に默禱を捧げた、

「伏せつー」

號令と共に一同ピタリと腹這つて地に耳をつけた

列車の音響は次第に近づいて來る

ピストンに唸りを生じてレールの上を飛んで來る黑光りの急行特別列車を彼等の視覺には只牙をむいて飛びかゝつて來る手負の黑豹にしか見えなかつた

ダーアン……じやじやじやじやガラガラガラ

一丁に沖する火柱に吹き上げられた列車は木葉微塵に碎かれて仕舞つた

黍畑に籠つてゐた便衣隊の面々は三、四尺も大地から叩き出された

やがてムクムクと起上つた彼等は線路の方へ群衆と一諸に走つた

血醒ぐさい哨煙の中に喘鳴と昇天する人靈がひしめきあつてゐた

彼等の一人は飴の如く曲つたレールの側から燒殘つた見覺えのある便衣服の一片をつまみあげると一樣に顔を見合した

沈はそれを素早く受取ると股ズボンの中へかくして終つた

「張將軍の御召列車でしたか！惜しい人でしたね！」

「全くお氣の毒ですナ！」

と、涼しい顔して口々に群衆に向つて張作霖の仕事を賞めそやしてゐた

沈高鵡は西の方を向いて何にか心の中で叫んでゐるやうだつたが……ホロホロと涙をこぼすと生殘つた同僚をかへりみて

「英雄といふものは…」

といつたなり後の言葉を續けないで口唇を嚙みしめた

又、その日の太陽も平凡に沙漠の彼方へ……吸ひこまれてゆく……その日のみ誰れが知る（終り）

愈よあす觀兵式

皇帝親臨の下に歴史的壯觀展開

滿洲國軍の精鋭一場に會合 威容中外に宣揚

大典觀兵式は、新帝陛下御親臨の下に愈よ來る十日午前十時から新京飛行場で擧行されるが、何分新興帝國軍第一回の觀兵式でもあり且つ全國の代表部隊を一場に會し、堂々たる新軍の威容を中外に示すものであるから、非常なる壯觀を呈することゝ想像される、觀兵式警備委員會では、當日の雜踏を豫想して拜觀者を、特別拜觀者、團體拜觀者、一般拜觀者（拜觀券所持者及拜觀券なきもの）に區別し、場内の整理を行ふことゝなつており、從つて拜觀券を所持せざる一般市民も、指定の場所に於て隨意に拜觀することが出來る但し一般拜觀者は當日午前九時迄に拜觀場所に到着することが必要で、九時以後は三宅牧場、射擊場裏を迂廻し飛行場西南入口より入場を許さるゝことゝなつてゐる なほ拜觀者は左記事項を注意されたいと

拜觀者注意事項

一、當日は午後九時四十分より鹵簿御通過迄同様御還幸前二十分より宮城御還幸迄夫々御道筋一帶の交□を遮斷せらる

二、沿線に於て鹵簿を拜觀せむとする者は當日午前九時迄に驛前（ヤマトホテル及地方事務所前富士町路上）の指定拜觀所に至り奉拜すること、其以外の場所に於ける奉拜は之を許されず

三、一般の拜觀者（拜觀券所持者及拜觀券なきもの）は當日午前九時迄に拜觀場に到着し係員の指示に從ふこと、九時以後は三宅牧場射擊場裏を迂廻し飛行場西南入口より入場せられたし

四、一般拜觀者は當日の混雜を豫想し且拜觀位置の關係上可成寛城子驛南方踏切方面入口又は三宅牧場東方踏切方面入口を利用せらるゝを可とす

之れが爲め當日午前八時より午前九時迄滿電バスは同會社前より飛行場入口手前迄、市營バスは市政公署前より日本橋通り、三宅牧場を經て飛行場入口手前迄臨時バスを運轉す又寛城子驛南方式場入口行の爲には寛城子行バスを運轉す

五、一般拜觀者の自動車其他乘物は航空會社北側空地に於て待合すること

六、招待者（招待狀を受けたる者）特別拜觀者（日滿在京高等官其他豫め特別拜觀證の交付を受けたる者）は午前九時四十分迄に式場入口より入場し夫々係員の指示に從ひ所定の位置に就くこと

七、式場に到る爲めには鐵道線路を踏切らざるべからざる故に充分汽車に注意すること

八、航空會社前飛行場は飛行機の離着陸其他の危險あるを以て絶對に立ち入らざること

九、式場は日本軍飛行場なるを以て棒切紙屑其他の遺棄は勿論特に穴を掘るが如き爾後の飛行に差支へることは絶對になさざること

十、當日天候等の爲め式取止めの場合は午前□時頃大同廣場に於て號砲五發を發射す

觀兵式當日水やお湯その他飲料水を式場に持參する拜觀者は魔法瓶に入れビール瓶やサイダー瓶などに入れて持參しないやう注意されたいと

滿洲國辭令

任航政局屬官敍（委任二等）營口航政局勤務を命ず　阿部　鐵藏

任航政局屬官敍（委任一等）營口航政局勤務を命ず　檜皮　健

任新京特別市公署技士敍（委任二等）新京特別市公署工務處勤務を命ず　舞木　諭

「雨天でも決行せよ」

皇帝の御言葉

側近者悉く感激

なほ十日の觀兵式當日萬一雨天の場合は如何にすべきかについて、當局でも考慮の結果側近者から親しく　皇帝陛下の御意嚮を伺つたところ、何分滿洲國最初の觀兵式ではあり十日若し降雨の場合は霽れるを待つて翌十一日に延期しても差支なきも、十一日はたとひ降雨荒天といへども豫定通り觀兵式を擧行する旨仰出されたと

小野元大藏次官を特務部長に

陸軍側就任方懇望

【東京國通】陸軍では關東軍特務部長は文官を以て充當する方針を決定し曩きに元大藏次官小野義一氏にその就任方を内交渉してゐたが同氏は一身上の都合から固辭してゐたが陸軍としては文官最初の特務部長としては曾つて大藏省理財局長並に次官として又代議士としての經歴を有し財政經濟に最も精通してゐる同氏に受諾して貰ふ事が最適任であるので重ねて同氏の奮起を懇望し内交渉を進めてゐる

八田副總裁來京豫定

八田滿鐵副總裁は來る十日の滿洲國陸軍觀兵式拜觀のため十日午前七時着列車で來京の筈である、尚目下滯通中の滿鐵東京支社長大淵理事も同日午後七時三十分着で到着の豫定である

日蘭會商帝國代表決定

【東京國通】日蘭會商帝國代表委員は八日の定例閣議で左

劃期的海軍異動

【東京國通】海軍省艦政本部長は大將とし中村良三大將を新部長に轉補せしめる事は既報の通りであるが、愈々十日附を以て左の如き將官級に劃期的の異動が行はれる事に決定した、而して軍事普及部委員長日比野正治少將は軍令部出仕となり當分休養の上他に□轉する模様である

呉鎭守府司令長官　海軍大將　中村　良三

軍事參議官兼艦政本部長　海軍次官將官會議々員　海軍中將　藤田　尙德

補呉鎭守府司令長官

補艦政本部長兼將官會議々員

補軍令部出仕兼海軍省出仕　海軍中將　杉　政人

軍需局長　海軍中將　牛丸　福作

補軍令部出仕兼海軍省出仕　海軍中將　長谷川　淸

任海軍次官　海軍機關學校長　海軍中將　小野寺　恕

補軍需局長　海軍燃料廠長　海軍少將　上田　宗重

補海軍機關學校長　廣島海軍工廠長　海軍少將　豐田貞次郎

補艦政本部總務部長　技術研究所化學研究部長兼技術會議々員　海軍少將　山中　政之

補海軍燃料廠長　軍令部出仕　海軍少將　坂野　常善

補軍令部出仕兼海軍省出仕（軍事普及部委員長を命ず）（軍事普及部委員長）　海軍少將　日比野正治

免兼職　海軍艦政本部總務部長　海軍少將　山下　兼滿

補廣島海軍工廠長

讀者の聲

新京で實行したい大連のことども

野人生

大連旅行中六日午後四時ごろ俄に降つた夕立で大連市の道路も水溜りが出來た、そこでうつかり歩いてゐては自動車から泥水を跳ねかけられるものと思つて注意してゐたら、それは新京だけの話であつて大連では早速自動車には水除けがつけられてあつた恥入つた次第何とか國都新京でも早くこのマネをやつたらどうじやろか▲同じく六日の午後六時から某亭で同志會が開かれて案内を得たが新京から行つた野人生は新京ぐらひに思つて六時から宿を出て會場についたのが六時二十五分驚いたことには二十五分經過したばかりに遲刻と來た、新京では一時間ぐらひは平氣で遲らかして開宴をやつてゐるがこれ亦無駄な時間だ、お互ひ自重して時間勵行をしたいものだ首都新京でも……▲六日は大連で滿鐵の大運動會が催された各學校各團體の應援の熱のあること來る六月三日の新京滿鐵運動會でも負けぬ應援振りが欲しいものだ

特命全權大使　長岡　春一　總領事　越田佐一郎

の如く正式決定、直ちに内閣より上奏御裁可を仰ぐ手續きを執つた

兩名ジャバに於ける日本蘭領東印度間の通商問題商議のため帝國代表委員を仰付らる（各通）

特使秩父宮殿下の御日程の編成終る

新京には御四日五夜御過し

特使秩父宮殿下御渡滿中の御日程豫定は大体次の通りである

▲第一日午後大連御着艦、内御泊り

▲第二日大連驛午前七時三十分御發午後六時新京御到着夜御休憩（提灯行列御覽）

▲第三日午前中御親書並ひに勳章捧呈、皇帝陛下御答問正午宮廷御午餐、午後新京神社御參拜、軍司令部、海軍部、大使館御成、夜殿下御招宴

▲第四日滿洲國側觀兵式御成正午殿下御主催御午餐　皇帝陛下親臨午後國都建設狀況御視察、軍司令官、大使御茶會、夜御休憩

▲第五日滿洲國日系官吏御親閱、在留官民一般奉拜、正午國務總理午餐、午後日滿官民合同園遊會、夜殿下御招宴（滿洲國要人）

▲第六日御告別御參內、正午宮廷御午餐、午後滿洲國側運動會御成、夜殿下御招宴

▲第七日新京御發、正午奉天御到着、午後、夜奉天の行事

▲第八日午前奉天の行事、正午奉天御發、午後旅順御到着、夜御休憩

▲第九、十日旅順及び大連の行事

▲十一日午前御出帆

御道筋の改修正式に決定す

直ちに工事に着手

秩父宮殿下御來京のため、既報の通り御道筋の改修工事に着工することになつたが改修を要する御道筋としては

朝日通、八島通、西廣場、蓬萊町の一部、平安町一部
和泉町の一部

で工費三萬余圓早急着工のうへ大急ぎで殿下御來京までに間に合せる方針である

秩父宮御召艦足柄こ決定

【東京國通】秩父特使宮殿下御渡滿の御召艦は一萬噸級新鋭巡洋艦足柄と正式に決定した

敍勳の沙汰下る！

勳一位は五名

けふ宮內府で親授式擧行

八日左の通り敍勳の沙汰があつたので勳一位敍勳者五名に對しては九日午前十一時宮內府において親授式を行はせられ引續き勳二位敍勳者に對する奉授式を施行されるはづでなほ勳三位敍勳者に對しての勳章及勳記は同日午後二時國務院において鄭國務總理から張軍政部大臣に傳達の豫定である

敍勳一位　賜景雲章

軍政部大臣　陸軍上將　張　景惠
侍從武官長熱河省警備司令官　陸軍上將　張　海鵬
奉天省警備司令官　陸軍上將　于　芷山
吉林省警備司令官　陸軍上將　吉　興
依蘭地區警備司令官　陸軍上將　于　琛澂

敍勳二位　賜景雲章

軍政部次長首都警備司令官　陸軍中將　王　靜修
黑龍江省警備司令官　陸軍中將　張　文鑄

敍勳三位　賜景雲章

興安南分省警備司令官　陸軍少將　巴特瑪拉佈坦
興安北分省警備司令官　陸軍少將　烏　爾金
江防艦隊司令官　陸軍少將　尹　祚乾

（一）大勳位蘭花大綬章及副章（二）龍光大綬章及副章（三）勳一位景雲章及副章（四）勳二位景雲章（五）勳三位景雲章

滿洲國勳章

登極記念 曾子仁氏作品展

滿洲國美術同人院の創立者たる民政部囑託曾子仁氏は今回御大典記念日滿藝術交歡を兼ねて十三日より三日間大連三越呉服店で個人美術展覽會を開催することゝなつた、同氏は文人書の珍らしい書法をもち自作と各大臣の題賛入りの逸品三十余點を出品するはづ

第二次北鐵中間會商

九日午后一時から再開

顏觸れは前回同様

【東京國通】北鐵交涉再開後ソ聯側は本國に請訓中であつたが右回訓は七日到着したので九日午後一時より第二次中間會商を開催する事となつた顏觸れは前回同様で更に具体的問題に對して討議する筈

滿鐵英貨債六百萬磅償還準備

【東京國通】昭和十一年一月一日期限到來の舊滿鐵英貨債の現在高は六百萬磅で現在の所到底借替不可能なので大藏省では早くも償還準備に着手した、而してその第一着手として一時外貨公債買入れに當はめて居た預金部所有の外貨債の利子年約一千萬餘圓を一般會計に讓り受けて、これを積立てる外出來るだけ爲替買入れに依つて外貨を調達する筈である、右舊滿鐵英貨債は相當部分が邦人の手に買取られ內地に取寄せられてゐるので、この分は正金其他の爲替銀行をしてこれを買取らしめ事實上この部分に就ては外貨調達の必要を見ない事となるので爲替相場への影響は比較的尠いものと觀られてゐる

親米から親日へ

支那大學生轉向

【東京國通】支那各地の大學生は、こゝ數年間殆んど排日運動に參加し、親米主義の下に日本視察よりも米國方面に視察旅行をなすものが多かつたが、最近は反對に非常に親日的態度に變つて來た

蠟山教授近衞公隨行

【東京國通】文化外交の必要を痛感した外務省は國際文化振興會と提携、具体案を練つたが先づ第一法とし十七日渡米の近衞公に文化視察の使命を托すは勿論だが帝大教授蠟山政道氏に近衞公の隨行使節を委囑した、蠟山氏は近衞公に隨行各地で講演し日米親善を圖る筈でちる

菱刈全權會議出席領事を招待

菱刈全權大使は第三回全滿領事會議出席の領事を主賓に出席關係者一同四十餘名を招き八日午後六時半より官邸に於て盛宴を張つた

經濟懇話會無電台を見學

新京經濟懇話會では近く寛城子および孟家屯の無電台を見學することゝなつた

ウヰーン停車場爆彈騷ぎ

【ウヰーン六日發國通】六日ウヰーンで二ケ所の停車場に爆彈騷ぎがあり何れも完全に爆發し被害は相當に上つた、原因は不明であるがナチスの仕業と目されて居る

滿鐵辭令

新京醫院醫員　吉利　猛二

社員非役規程に依り非役を命ず

阿片視察に慶大宮島博士近く來滿

阿片問題に關しては國際的の權威者國際聯盟阿片中央委員會委員慶大教授醫學博士宮島

偶語

昨年來、滿鐵と軍補導部との間で折衝中だつた新補導部廳舍の借入れがいよいよ近く正式に成立しそうである▼これが出來ると新たに一般求職者のための職業紹介機關が生れるとゝもに簡易宿泊所も一躍定員百六十名まで收容される見込で、社會事業方面に對する大飛躍が期待されるわけだ▼事變後、滿洲熱に浮かされて新京めざして來るルンペンは今なほ殖える一方である、のに一般のための職業紹介所がなく、また簡易宿泊所はあつてもその定員僅に冬期二十余名、夏期でも三十名を出でぬ始末だ▼これがため地方事務所では本年度、宿泊所の新築移轉を計畫したが、本社で容れられず遂にオジヤンとなつた それが後日軍補導部の新築計畫を知つて合流したものである▼たとひ建物は補導部のものでも、實質的には何ら變りがない、實現後は大いに活用して、哀れな吾等の同胞のために最大の努力を盡したい▼きのふ地方事務所に初見參の神崎副所長「何事も押しの一手で……」とおつしやるスマートな同君には似合はない言葉だが、あれでなかなかの利け者らしい▼青年荒木章さんの女房役として誠に歩合ひの御夫婦とも申すべく、鯉沼地方係長を加へて、これで立派に三役が揃つたわけだ切角の御健闘を祈る

乳幼兒週間ふけ終る

新京一の折紙がついた 譽れの赤ちゃん

最優良兒五名と優良兒が十名

＝嚴重審査の結果＝

乳幼兒愛護週間中の行事として行はれた第五回乳幼兒審査會は去る三日から五日まで滿鐵醫院で行はれ同院小兒科醫長田中貢、同小兒科醫員太田友安兩氏の手で審査し整理中のところ、八日午後一時から優良候補三十五名、再診査の結果はいよいよ左の通り最優良兒五名、優良兒十名を決定それぞれ內報された

最優良兒（五名）

△常盤町二丁目二 山領 誠さん
△北安路九〇六 篠原 陽子さん
△新京總領事館內 林 光子さん
△祝町三丁目 田中 典さん
△祝町二丁目十八 池田 芳祥さん

優良兒（十名）

△日本橋通一七 西本 博文さん
△日本橋通二九 堂尾 光子さん
△白菊町三丁目一八 後藤 彥雄さん
△平安町三丁目四 鶴來 梢さん
△日本橋通六六 田久保幸枝さん
△吉野町一丁目五 金澤 陽子さん
△入船町二丁目一 美馬 淑子さん
△室町四丁目四 伊藤 直子さん
△高砂町二丁目八 藤井 昇さん
△羽衣町三丁目十四 佐藤 克さん

なほ右優良兒表彰式は十五日午後一時から露月町一丁目家事講習所で盛大に擧行されるはずである

最後の榮冠は誰に？
ーきのふ優良兒の再審査ー

兩親は若く一人子が多い

審査委員長 田中醫長語る

右審査の經過につき審査委員長、滿鐵新京醫院小兒科醫長田中貢氏は語る

審査を受付けた範圍は生後三ヶ月以上、お誕生を過ぎた頃までの出生兒（昭和八年二月一日から九年一月卅一日まで）が大部分で百五十餘名、ほかに昨年の優良兒七、八名である、數において昨年と變りなく昨年の優良兒は今年も全部やはり優良兒であつた、今回の審査では特別にビックリするほど良いとか、惡ひといふものはなく、大抵は標準兒に近いものであつたが、三日間審査の結果はまづ候補者三十五名を選び再診査の結果十五名、そのうち最優良兒五名、優良兒五名を選んだわけである、一々審査の結果は內地あたりと大同小異ではあつたがしかし內地より大体において粒が揃つてゐる、選ばれた優良兒の兩親を見ると例外はないでもないがやはり健康体である父三十歲、母二十四五歲前後が多くしかも一人子が多かつたが、これは今頃の新京は若い新來の夫婦が多いのも原因してゐるであらうし、また若い夫婦では育兒にも關心を拂ひ、また澤山の子持と違つて閑があつて出掛けるには便利だつたからとも見られる、なほ審査方法としては出產、營養方法、發育狀態兩親および同胞の健康狀況に大別し、更にかく詳細に亘つて行つたものである

西廣場校 取敢へず三學級を增設

西廣場小學校においては本年四月以來三百七十一人の兒童が增加しているが今なほ一日六七人づゝふえつゝある現狀でかねて六學級增加方を申請中であつたところ今回とりあへず三學級だけ增級を認可されることに決定した

十日は 范家屯の春祭

范家屯神社では十日が春祭りで前夜は宵祭であるが九日は境內で劍道、角力などの餘興あり、十日は本祭りで小學兒童の大運動會を神社で行ふ

錢湯組合がまた値上げを陳狀

警察では時期尙早とはねる

新京錢湯組合では八日新京署に保安主任を訪れ湯錢現在七錢を八錢に値上方を陳情したが同主任は時期尙早とて値上を拒絕した

右に就き井之上保安主任は語る

錢湯組合の値上は昨年來から度々陳情してゐるが陳情の理由は諸物價が高いからといふのであるが實際に錢湯業を調査して見ると、まだまだ値上をする必要はない、現在では內地人の錢湯は三軒で人口は一日三十人以上の人が增加してゐるからいづれの錢湯も大入で相當利益をあげてゐることゝ思ふ、錢湯の必要品である石炭は高くなつたとはいへまだ諸物價に比すればたいしたこともあるまい、値上は時期を見ることだ

廻れ右のお天氣 けふから持ち直さう

八日朝から急に冷へた新京の花に雪でも訪れはしないか？と觀側所の日和見を伺つて見ると

まさか花の雪の珍現象までにはなるまい

と八日午後二時最低氣溫が六[illegible]六時までの間に十五度例年五月八日の平均氣溫は十三度七分昨年八日が十度八分になつてゐる、急に寒氣を齎した原因は七日朝兆南方面に七百四十六ミリの低氣壓と胃島沖黃海に七百五十二ミリの低氣壓を結んだ不連續線が生じ、この不連續線の通過前には天候が惡くなつて雨が降つた、昨夜は全滿に亘つて雨で、八日午前十一時に新京の通過した不連續線は東進して中心は平壤、元山間を過ぎ去つた、風はこれと同時に北西の風であつたゝめ寒くなつた、九日あたりから天氣は恢復して氣溫も從つて昇つて來るであらう

郭家店、八家子間部落から列車へ發砲 窓硝子貫通

新京驛午前六時三十分發奉天行列車が八日午前八時頃八家子、郭家店間を進行中突然左[illegible]受け滿員の車內は總立となり大騷ぎを演じたが三等車の窓硝子を貫通したのみで幸ひ死傷者はなかつた、急報により郭家店守備隊が現場に急行附[illegible]住楊滿徑（二二）を逮捕訊問の結果同人が豚威嚇のため發砲したものが誤つて列車に命中したと自供して居るが守備隊は附近沿線を嚴戒して居る

支那が頑ばる以上 規約改正不能

極東オリンピック問題で 岡部平太氏歸來談

滿洲における陸上競技界の元老岡部平太氏は滿洲國の極東オリンピック參加問題について赴日中であつたが歸途八日午前七時新京驛着列車で朝鮮經由來京、國都ホテルにおいて次の如く語る

日本体育協會が輿論を押しきり險惡な空氣のなかにフイリッピンにおもむいたことは極東大會の規約を合法的に改正して是非滿洲國を參加させるやうにする、若しそれが出來なかつたら脫退をも辭せんといふことを前ぶれとして出場したのであるが、自分はあの大會規約は支那かがんばる以上とても合法的に改正できるものではないと思つてゐるフイリッピンが完全に日本と手を握つて支那を除外せぬ限り滿洲の極東大會參加は永遠に不可能であらう、今度の問題で滿洲國は國際オリンピックへの出場階段を失つしたわけでかへすがへすも殘念なことである

新設職業紹介所の實現愈よ決定

軍補導部と滿鐵の契約成る 近く新築に着手

國都建設地域に新築される軍職業補導部廳舍はその半分は補導部事務室および從事員宿舍に宛てられることゝし、殘り半分は滿鐵で借入れて一般求職者のために職業紹介所および簡易宿泊所とすべく、昨年來陸軍省および滿鐵間で折衝をつゞけて來たが、このほど漸く進捗しいよいよ軍補導部長、滿鐵地方部長間の話纏まり近く正式調印を見ることになつた、同建物は新築費十六萬圓を要し滿鐵はその半分を借受けることになれば、直ちに新たに職業紹介所を開設し、また簡易宿泊所は現在（日本橋公園內）卅名に過ぎない定員を百六十名まで收容される見込である、正式調印以來不日新築に着手し本年中に竣工の豫定である

總工費四萬圓で長春寺新築 今秋末工事着手

曙町、東三條通り角春長寺（淨土宗）では現在の建物では餘り狹くて不便を感ずるので本堂及び附屬庫裡の新築の計劃をたて既に本堂の新築設計圖は出來ており一般有志の寄附を仰いで今秋末にはその基礎工事に手をかける豫定である、計劃圖によると十八間に五間（九十坪）の本堂を現在の入口のところまで持つて來て後の方に附屬建物を建てると、この工事費が大体四萬圓の豫定

人口增加で屠獸場大繁昌 先月よりは減少

人口の增加にともなひ牛、馬豚、の屠殺の數が增加した、四月中に新京屠殺畜場で屠殺した總頭數は一千六百七十七頭前月に比すると八頭の減少であるが、これは氣候の關係によるもので、なほ事變前昭和六年の同月に比すると四百五十四頭の大激增を示してゐる右の內豚一千三百六十七頭を筆頭に牛二百七十七頭 馬五十八頭、羊二十四頭である

傳染病患者引越し 輕症者を分院へ

滿鐵醫院では傳染病入院患者中の輕症者八名を七日新傳染病棟に移し、自動車でそれぞれ引越しを行つた、これで現在新病棟に收容されるもの二十三名、なほ本院舊病棟にある重症者は十六名であるがこれらも輕症になり次第順次新病棟へ收容されるはずである

十一日に 全滿旅館協會定時總會

全滿旅館協會では來る十一日午前十時から大連靑年會館で第十二回定時總會を開くが新京の旅館業者は約二十餘名か[illegible]

南支への旅（終）

新京高女修學旅行團

大連ー新京　四月七日

電柱が飛ぶ、飛ぶ、飛ぶ赤土のうねりが、ほらどんどん後に

何でもかんでも早く飛んで行つてしまへ

今日は我等の凱旋だ

棚の上のお土產が時々氣になつて見上げる、あれは妹にやつて、あれはお母さんでそれからあれは、それからそれからし、甘へん坊の妹が「お姉ちやんお土產」つて飛びついて來るだらう、お母さんは何つておつしやるだらうかお父さんはやつぱり「ハハハハハ」つてお笑ひになるか知ら、お姉さんはお兄さんは………

お土產を得意然と開く時の光景が、目の先にちらちらする

それにしても何てこの汽車はおそいんだらう

窓のガラスにおでこを痛くなる程すりつけて窓外を眺める、半白い河がすうつと後の方へ行く、地平線上にふんわりと白い雲が浮いて居る、何んて間の拔けた雲だらう、人の氣も知らないで………

蘇家屯、奉天、鐵嶺と嬉しさうに下車して行く友がゐる『さよなら』『さよなら』『また明後日ね』

昌圖の「ブタマンジュウ」の聲に、また新京のブタマンジュウの芳しい香が漂うて來る

「今何時？」

「一時」

「もう三時間四十分ね」

「そしたら……もう新京ねあ！戀しき我家だわ」朝からこんな會話が何度も何度もくりかへされる、公主嶺范家屯、刻々と見なれた景色で現はれて來た、「棚の上の荷持下さない？」

この言葉を聞いては氣の早くない者でも氣が早くなる、早、降り仕度に腰掛けて居るものがない

「ほら！新發屯よ！」「もう驛だ、あらタンクよ！」「あ校長先生のお顏が………」「あらあんな所にお母さんが居るわよ！」

汽車はやつと戀しい新京驛に私等を運んで與れた、窓、窓、顏、顏、顏、手、手、手、迎へられる者、迎へる者、歡呼の渦卷がプラットフォームに起る

「お歸りなさい」「お疲したでせう」「旅行は面白かつた？」あちらからもこちらからも言葉の矢が飛び交うて來る、返事する暇もない位だ整列して校長先生やお出迎の方々に御あいさつ、解散

あゝ！あんなに樂しみにし待ちに待つて居た江南の春の旅も今午後四時四十分を以て終末を告げたのだ、十三日の旅！海路遙かなる南支の旅なのに考へて見れば余りにもはかない夢のような氣がするか併し………、この淡い果敢なかつた夢路こそ私等の生涯に最も鮮やかに、樂しいなつかしい足跡を殘して思出の花を咲かせる唯一の園生ではなかつたらうか【松岡翠】

脫落番號は再抽籤當籤者を決定發表

搖彩票過失問題解決

哈爾濱賽馬場に於ける壽搖彩票抽籤過失問題に關し馬政局では關係官民各方面の意見を徵した上當日施行の當籤者に對しては定規の配當金を交付した外、脫落せる二千一號より三千號に就ては追加抽籤を行ひ其の當籤者に對しても發賣金額六千圓を基礎として算出せる配當金を交付することとし去る三日附、日滿官民新聞記者其他關係者立會の許に抽籤を實施し當籤者を決定發表したが馬政局の公正なる處置は一般に好意を與へ本問題も無事解決を見た

横井掩護隊 戰鬪詳報

【ハルビン國通】既報、去る四日北鐵東部線寧古塔東北地區に於て匪賊と交戰々死一、負傷五名を出した横井少尉の率ゐる〇〇線鐵道掩護隊の戰鬪詳報左の如し、即ち去る四日午前四時寧古塔を發した横井〇隊の十九名は同日午前八時頃寧古塔東北三支里の地點の谷間にて約二百の匪團と遭遇午前八時頃より午後二時迄約七時間に亘り激戰し匪團に全滅的打擊を與へ西方に擊退したこの戰鬪に於て横井少尉は匪彈雨霰の如く飛來する中に軍刀を振りかざし勇躍陣頭に立つて部下を激勵して居たが匪彈は横井少尉の左腹部に命中鮮血は軍服を紅に染め相次いで四名は匪彈のために昏倒したが重傷に怯まず横井少尉は軍刀を杖に立上りよろめきながら群る匪賊の中に軍刀を翳して斬り込み見る見る中に數名を倒した　この武者振りに元氣付いた十九名の部下は重傷を負ひつつ決死的奮戰を續け機關銃の彈丸猛きんとした午後二時頃匪團を擊退した

秩父宮御來滿で道路修繕

特使秩父宮殿下御來京遊ばされるので新京地方事務所では取敢へず朝日通り、八島通り、西廣場、蓬萊町一部、平安町一部、和泉町、南廣場道路を修繕するが、工事期間が極めて短く工事施行中は市內通行に多少の不便はあるだらう、道路修繕後は荷馬車の通行は禁止される豫定

通化電報局 和文取扱開始

通化電報局では去る五月一日より和文電報の取扱ひを開始した

日滿教育聯合會準備打合せ

來る二十日新京商業學校において日滿教育聯合總會を開催することに決定したが九日午後一時から公學校において各學校より委員集合打合せ會をなす筈である

市民獻上の屛風 八日手續き

既報、新京市民から滿洲國皇帝陛下に獻上する記念金張り屛風は八日午後二時地方事務所稻葉庶務係長が捧持して外交部へ運び外交部の方で獻上

常設館新設 田中善平氏の手で

上野、寺中兩氏ひく

既報の如く三笠町上野由人、富士町寺中楠治、城內田中善平の諸氏が共同出資で首都にふさはしい常設館を設置することになつてゐたが種々の事情から上野、寺中兩氏が手を引くことになり田中氏並に同氏派により新に許可申請を新京總領事館に提出することになつた

遺骨還る

步兵第〇〇〇隊附故伍長宮坂直平氏の遺骨は八日午後三時二十五分着列車で新京着、すぐ四時半列車に安置されて軍官民の悲しき燒香をうけて四時半發列車で南行、內地へ輸送された

步兵第〇〇隊附遺骨一体八日午後三時二十五分ハルビンから輸送、同日午後四時三十分發列車で內地へ輸送される

兵隊のお母さん 栗島夫人去る

當地より鐵嶺檢車區に榮轉の栗島紋太郞氏は六日午前十時五十分急行「ハト」にて多數官民婦人會員歡送裡に赴任した、なほ栗島夫人は在四中は聯合婦人會幹事として活躍、軍隊慰問には特に留意し、軍隊移動、兵舍訪問、兵士ホームの觀待には夫人の姿を見ないことなく兵隊「オ母さん」として親しまれ今回の離四は軍隊は勿論各方面から惜しまれて居る、離四に際し夫人の盡力に依つて設立せられたる日蓮宗立正婦人會に金一封を寄贈した

花だより

若葉芽生へる今日このごろの暖き氣溫に惠れ當地近郊海豐屯の梨花は今八分咲き家族會野遊會には絕好の遊園地であるが、道路の不完全なる爲惜しき春の風致を損ふものとして惜しまれて居る四平街公園の杏は例年に無く本年は紅、白花咲きほころひ春の裝ひを完備して散策遊園に市民をまつてゐる、五、六日警察署の家族會をトップとして諸官廳會社　町會の園遊に賑ひつゝあるが、七日午後四時より地方事務所員一同忠魂碑前で紅白の幔幕を張り石岡所長參席野遊會が催された

人事往來

添田地方委員議長は午後六時五十分にて大連に向つた

少女歌劇 十八日來四

數回滿鐵沿線北滿各地を巡演して絕讚を博した日本少女歌劇團大一座は今回滿鐵地方課後援の下に社員家族居留民慰安の目的を以て沿線各地巡演中であつたが愈々來る十八日來四、日夜公會堂に於て上演される事になつた

星ヶ浦の觀櫻第二班歸る

大連星ヶ浦觀櫻團第二班二十餘名は第一班より一日遲れ八日午後一時五十五分着でビューローの岡本旅客主任引率でビューロー桑原主任始め驛員本社社員歡迎裡に[illegible]元氣一杯で歸京

お嬢さん方大勝

高女本年卒業生と先生方試合

新京高等女學校職員籠球部は本年度同校卒業生のお嬢さん方から籠球試合を申込まれ、七日午後四時から同校コートにおいて試合をしたが二十三對十八でお嬢さん側大勝した太鼓帶やふり袖をぬぎ捨てゝユニホーム姿で恩師と母校の庭にスポーツを樂しむことは師弟の情やゝもすればすたれつゝある世相において床しくもまた愉快なことでめる

轢逃げ犯人不明

夕刊所報、室町小學校二年生鶴田眞砂子さん（九）に重傷を負した轢逃げ犯人について屆出と同時に新京署では八方に手配をなし目ド犯人嚴探中であるが捜査の結果二十八歲前後の滿人ボーイとのみ判つた

四平街 石岡事務所長寄附

石岡地方事務所長は故三男英武氏の忌明に當り四平街神社を始め左記團体へ金一封宛寄贈した

四平街 神社　在鄕軍人分會　時局後援會　佛教靑年會　聯合婦人會　西本願寺　小學校父兄會　幼稚園

忠靈塔寄附者（卅） 新京日日新聞社扱

▲十圓永樂町一ノ四木下莊▲卅圓新京東五條通永順洋行新京出張所▲小計四十圓▲累計四千七百卅二圓九十一錢

函館大火災義捐金

▼六十二圓新京輸入組合▼累計一萬〇八百六十八圓七十五錢

日本の聖女

（上海上映）生田葵　南部龍平畫

一〇四

牢獄脱出（一）

朝起き出た女囚達は、寝蓙を上げて昨日のやうに牢名主初め隠居、暇人の居の席を作り上げ、それから雑巾を持出して掃除にかゝるのであつた。

畳の上に座る者は役附と名附られて、そんな仲間に加はらずともいいので、お定にはそれが却つて手持無沙汰であつた。

拍子木が鳴つて朝の食事となり、食物は澤わん三切丈けのもつそう飯が配られたが、お定にはそれも快く咽喉へ通つた。

「今日は雨か」

お定の直ぐ側に座すお鈴がつぶやいた。

なる程、耳を澄ますと、軒樋を流れる水音がお定の耳にも聞こえた。

と他に女囚達が立ち上つて牢名主や平やお高のそばへと寄うて行くのであつた。

「お高様の切支丹のお話が初まるのぢや」

お鈴がお定へと囁いた。

お定は、直ぐお高のそばへといつた。

「今日も切支丹の話をいたします。此間から云ふた通り切支丹は決して魔法ぢやない。外國のお宗旨なのぢや。日本國には日本國のお宗旨もあり、神様もあり佛様もあるから、異國のお宗旨の話をする必要はないとお思ひになるかもしれないが、私達は此世の中に、神様は此の世の中を作り人間を作り、鳥や獣や蟲を作り、水も石も、それから空のお星様と、ありとあらゆるものをお作りになつたのです。その神様をお信じ申す教へを切支丹といふのです。日本の佛様の教へは人間は死んだ後、此の世で犯した罪によつて地獄へ行き、善行によつて極楽へ行くと云つて居ますが、それは切支丹も同様です。しかし切支丹の佛教とが違ふところは、死んだ後よりも、生きて居る間に人間を幸福にしようとするのです。それです。それで此のお宗旨は、此の世から貧乏人を無くし、病人を無くして人間が悪いことなどをする必要がないやうに、人間をみちびいて行かうとするのです。どうぞよく聞いて下さい。盗賊となるのはお金が有るのに盗賊になるものはありません。盗賊になるのには盗賊になる理由がある。つまり同じ人間でありながら、或人にはお金が有つて或る者にはお金が無い不公平から來るのです。それ故此の不公平を無くするのはなかなかむづかしい事柄ですが、やつて出來ないことはありません。それには先づ身分の上の者も、身分の下の者も一様平等に他人の飢を救ひ、氣の毒な生活をしてゐる人をすくはうといふ心持をもてばよいのです。さうした心持を養ふのが切支丹です。自分のやうに、隣人を愛せよ、之が、切支丹の、根本義なのです」

お高は此處迄述べると些と言葉を切つて自分の前に坐して居る囚人を見廻した。

誰も彼も思ひ當る節々が多いやうに神妙に聴き入つて居た。

お高はそれから切支丹の日本に渡來した歴史を述べ立てた。

足利時代の末、信長公は殊の外信仰して京都には南蠻寺が建つた程。九州では數多くの大名が歸依者となつた爲め、徳川で切支丹の禁止令を出したにかゝはらず、密々信仰する者があつて終に島原の大亂となつたことなど話た。